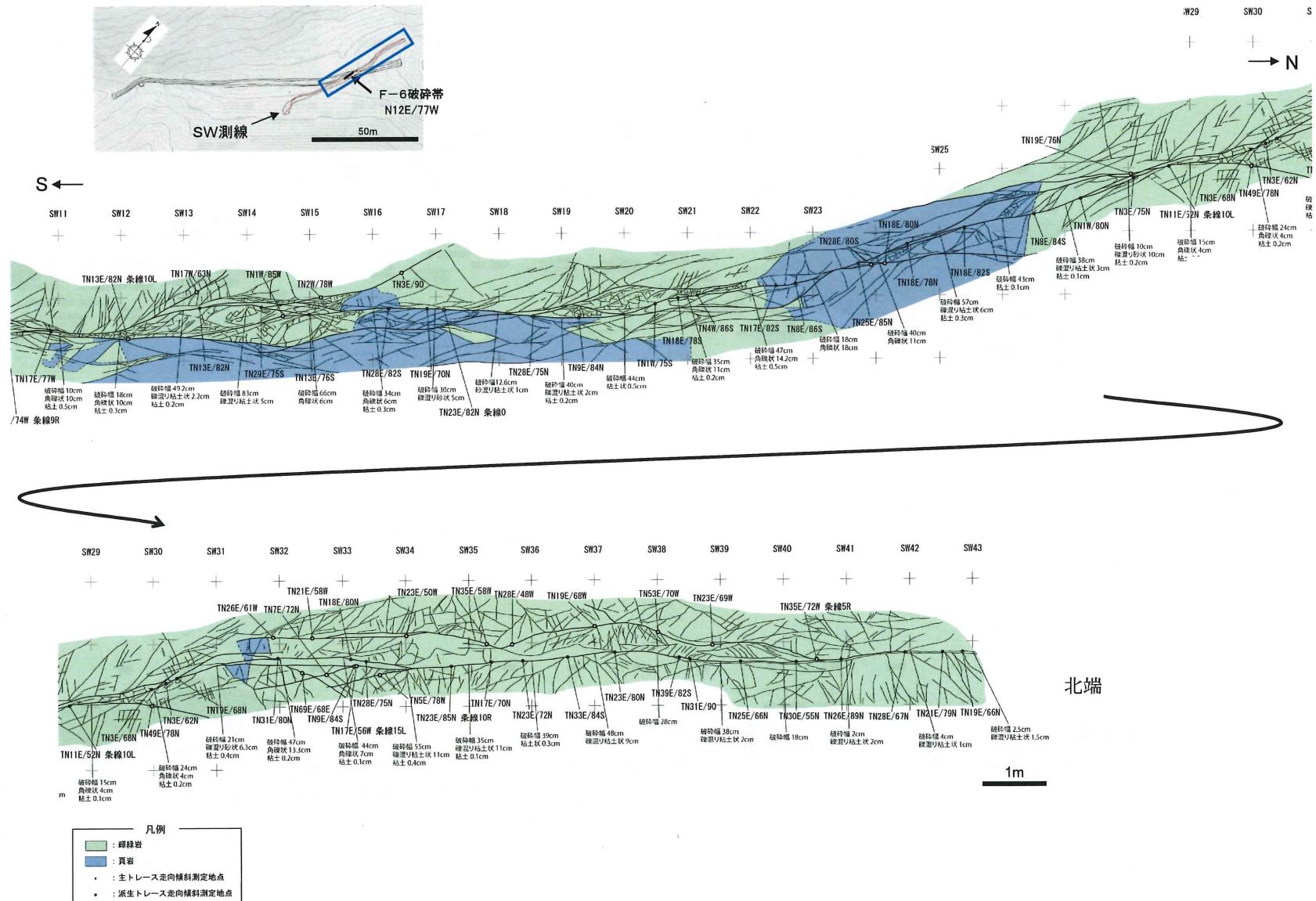
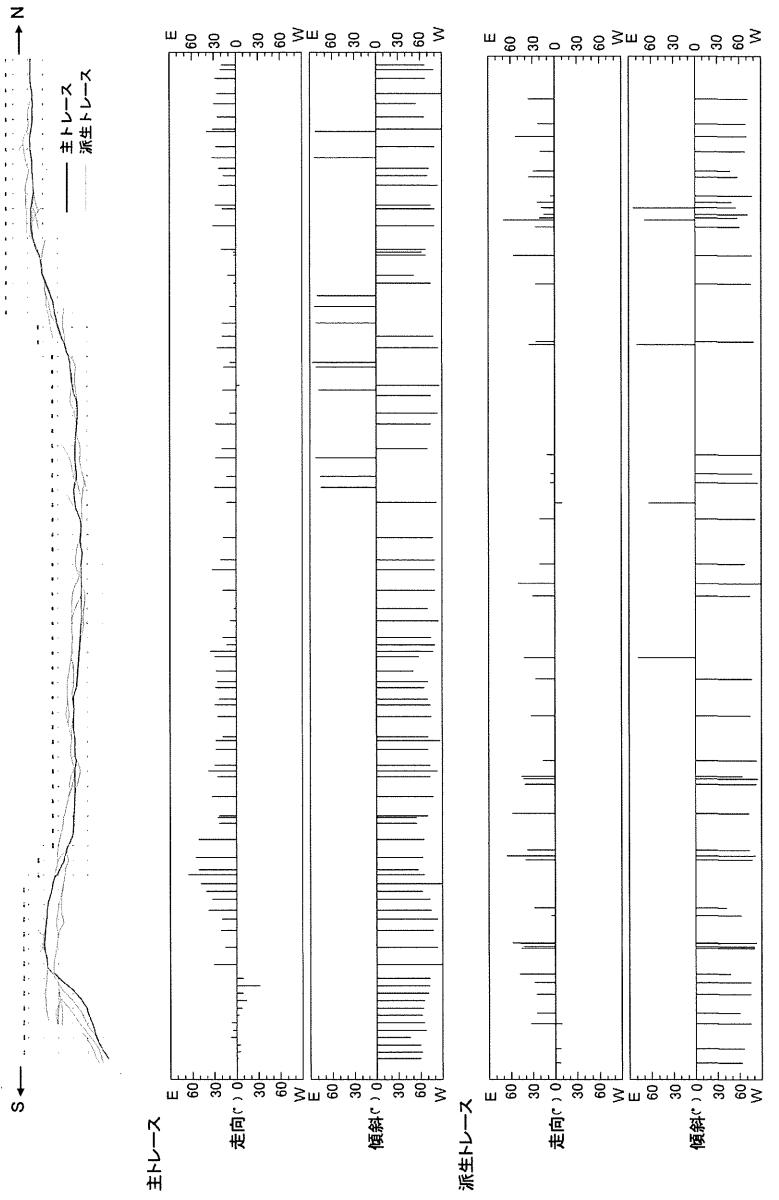


※図に表記した走向は真北

第3.5.53図(1) 山頂トレンチ底盤スケッチ その1(SW測線南側、SW11～SW-24)

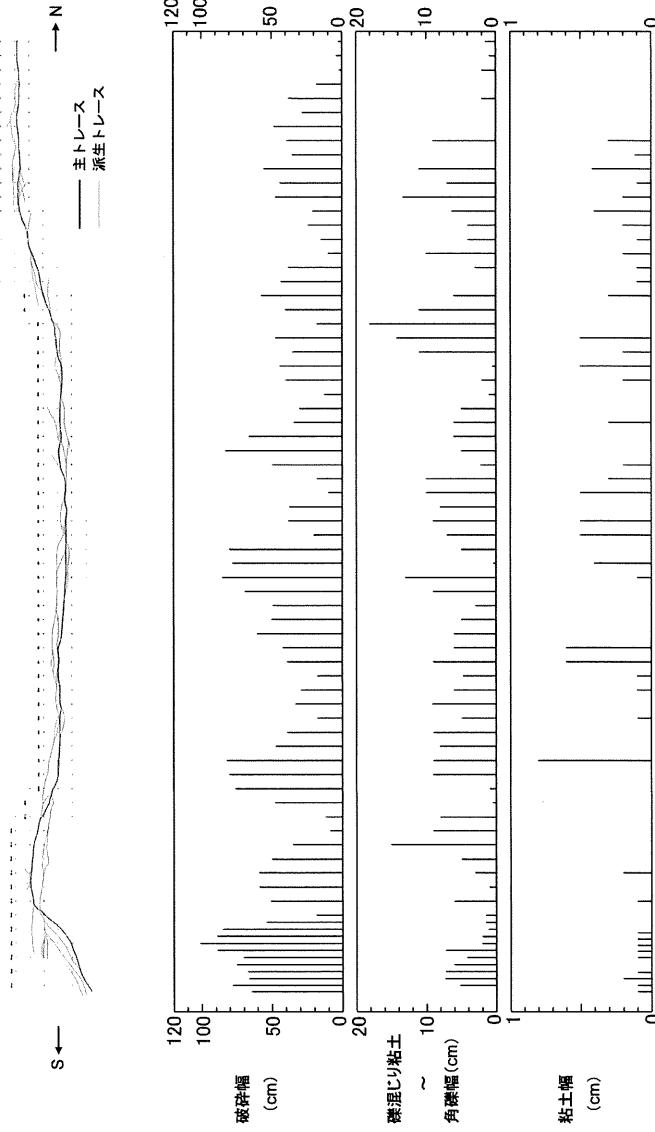


第3553図(2) 山頂トレンチ底盤スケッチ その2(SW測線北側、SW43～SW11)



•破碎帯全長にわたり、主トレースについて概ね1m間隔で走向・傾斜を計測した。
•走向は、概ねN5°E～N40°E, N20±15°E(1 σ)を示し、南端部では概ねN5°E～N30°Wを示す。
•傾斜は、75W±13°(1 σ)を示し、南半分では高角西傾斜、北半分では高角西傾斜。

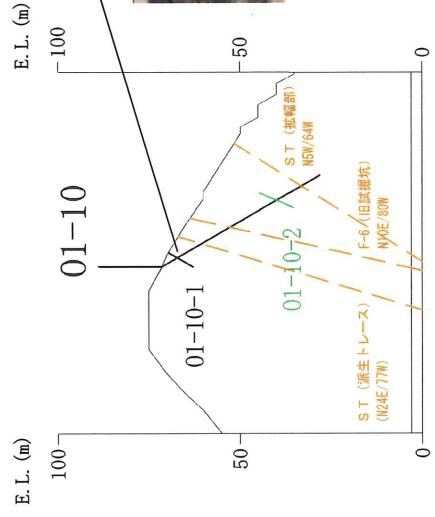
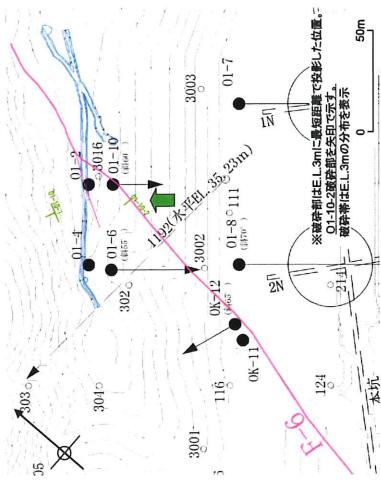
第3.5.54 図 F-6 破碎帯の走向傾斜測定結果



•F-6破碎帯の破碎帯幅、角礫状～礫混じり粘土状破碎部幅、粘土状破碎部幅の計測を行った。
•破碎帯幅は概ね10cm～80cm(平均45.4cm)である。角礫状～礫混じり粘土状破碎部幅は概ね5cm～15cm(平均5.9cm)である。
•粘土幅は概ね0.1cm～0.6cm(平均0.2cm)であり、非常に薄い。
•南端部では破碎幅が広いが、北端部では破碎幅が狭くない、破碎帶幅は2.5cmに収束する。

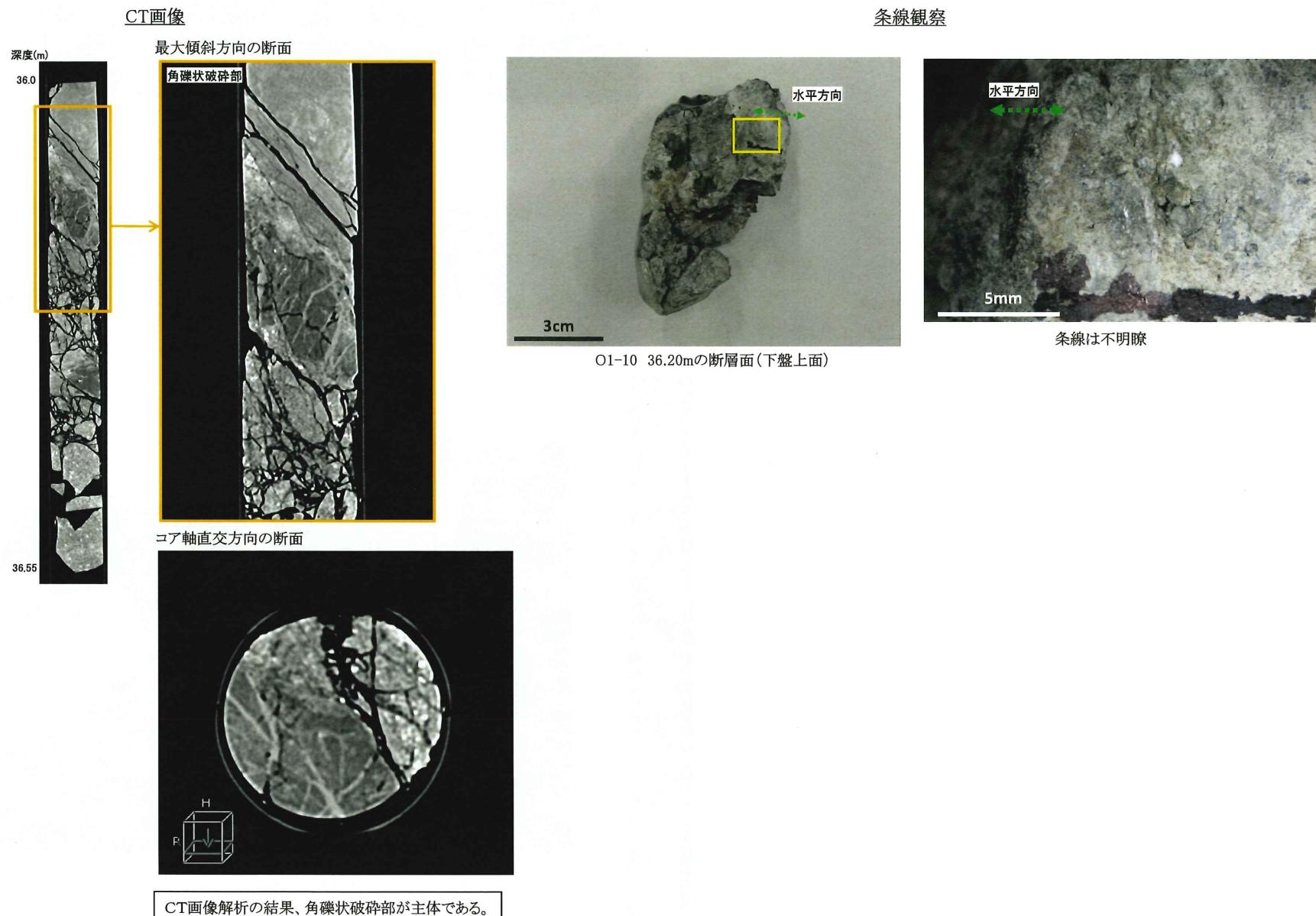
第3.5.55 図 F-6 破碎帯の破碎幅測定結果

F-6破碎帶(01-10孔L)



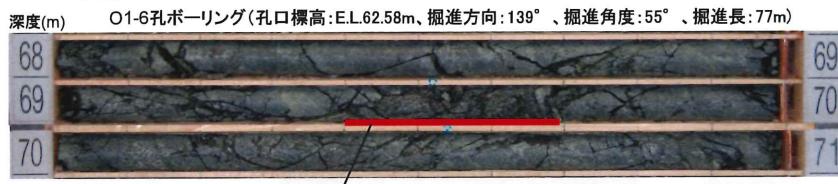
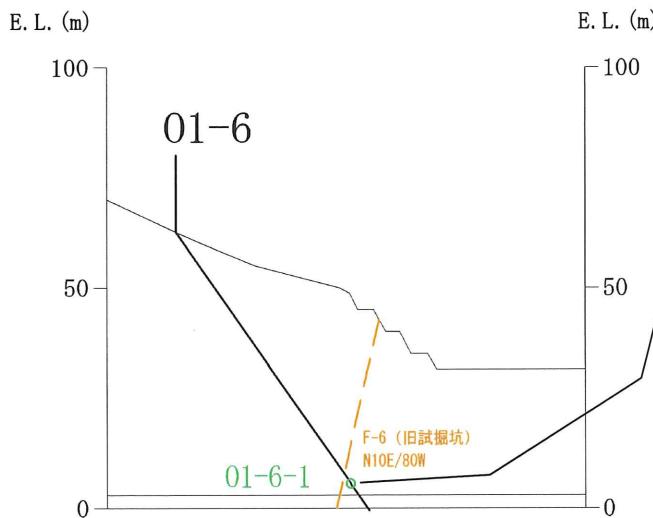
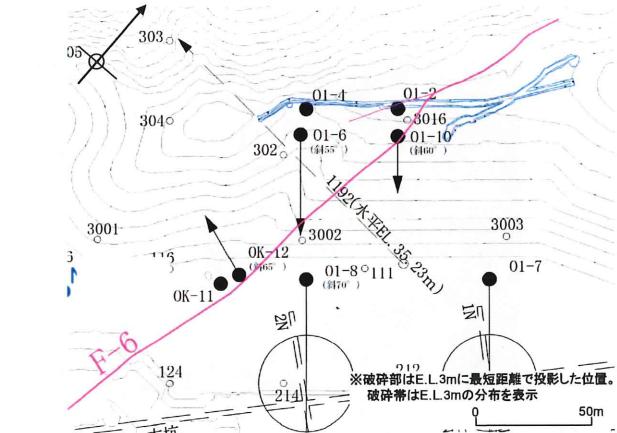
第3.5.56 図 F-6 破碎帶 ボーリングコア観察結果 (01-10 孔L)

F-6破碎帶(O1-10孔)



第3.5.57図 F-6破碎帶 条線観察結果 (O1-10孔)

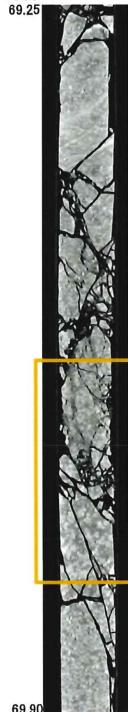
F-6破碎帶(01-6孔)



深度69.40m～69.70m
・角礫状破碎部。上端境界70°、下端境界70°

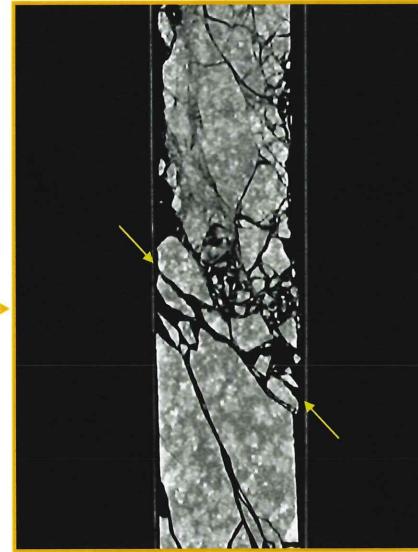


深度(m)
69.25



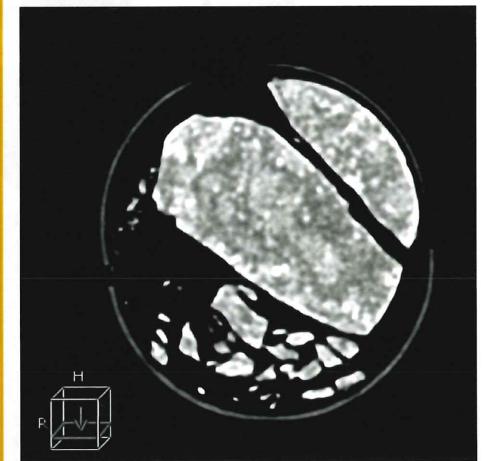
CT画像

最大傾斜方向の断面



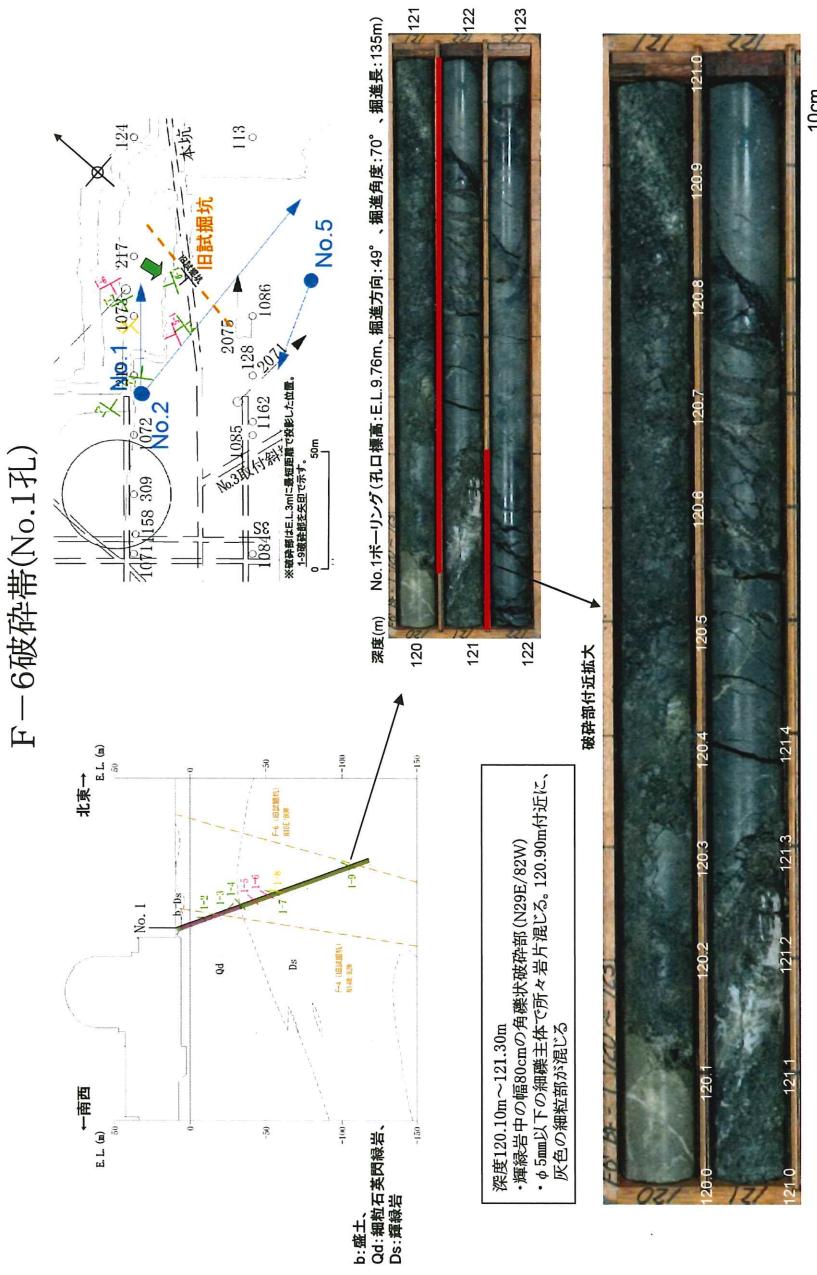
角礫状破碎部の断层面の傾斜は見かけ60°程度

コア軸直交方向の断面



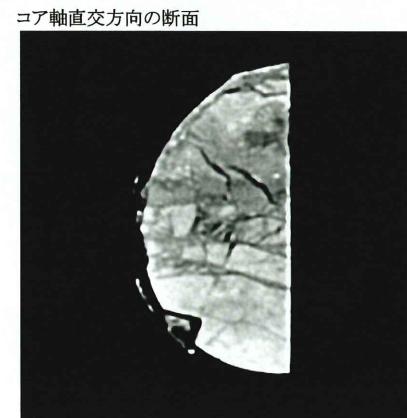
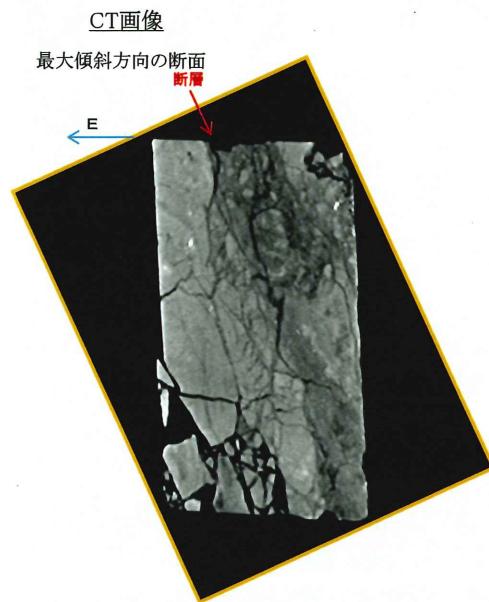
CT画像解析の結果、最も細片化が進んだ角礫状破碎部の幅は10cm、
断层面の傾斜は見かけ60°程度である。

第3.5.58図 F-6破碎帶 ボーリングコア観察結果 (01-6孔)

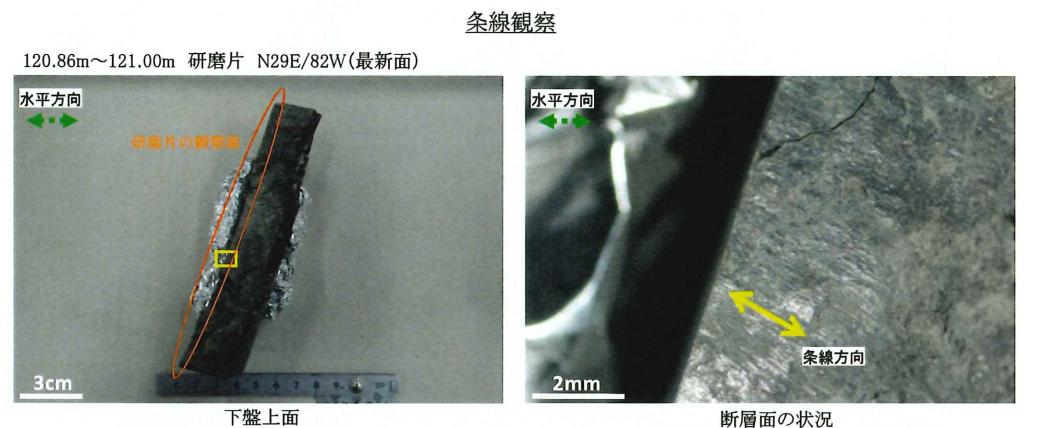


第3559回 E-6 破壊 対ニーリングコア鋼管接合 (No.1孔) 10cm

F-6破碎帶(No.1孔)

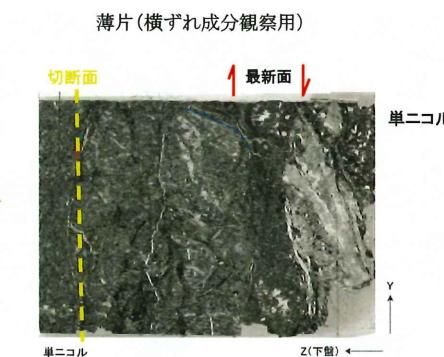
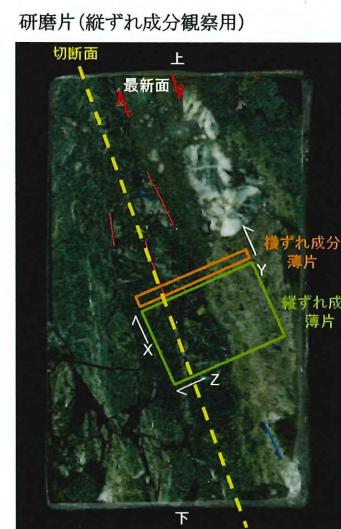


CT画像解析による変位センスは不明

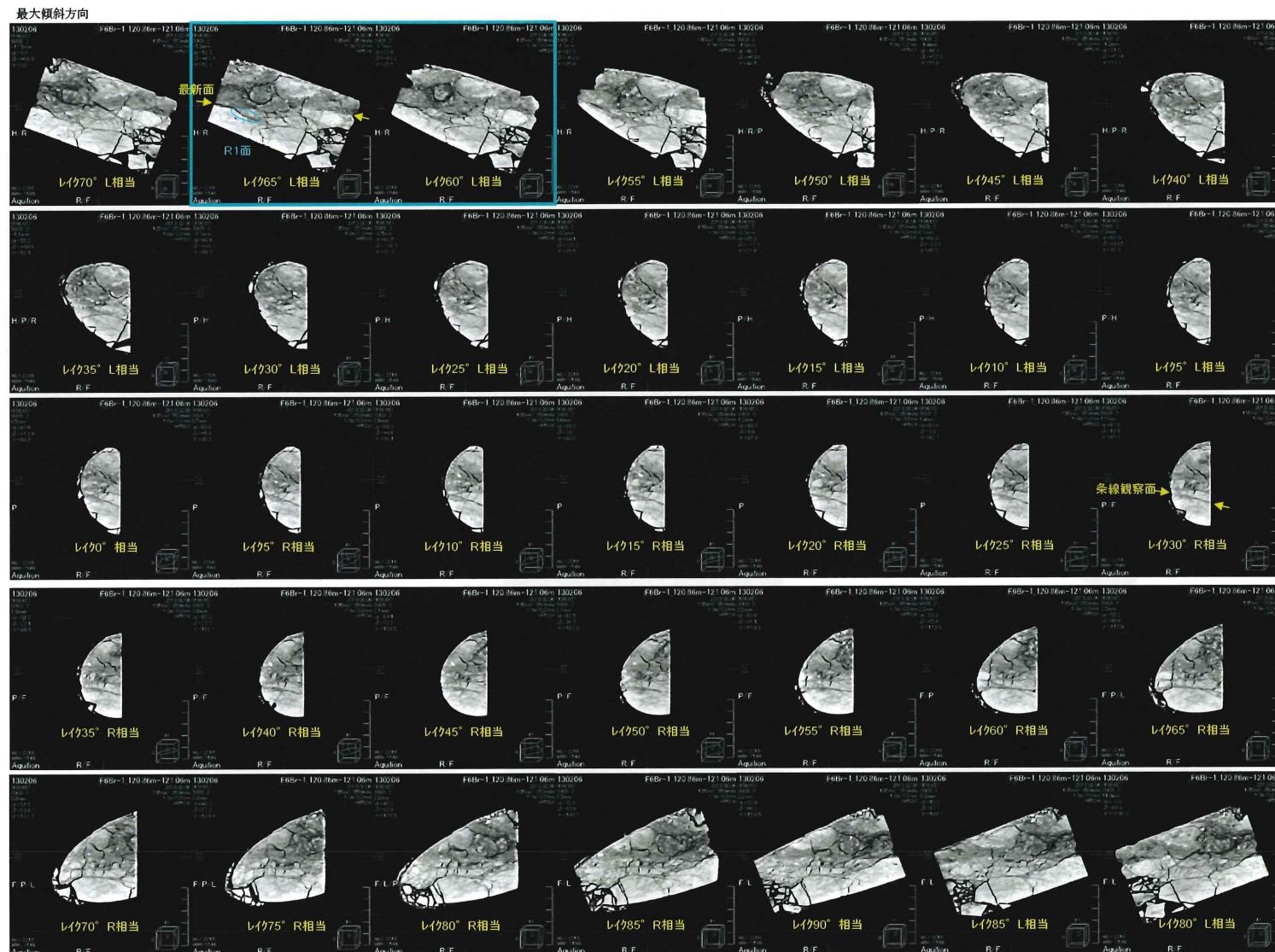


断層面の状況

断層面の走向
条線の方向($30^{\circ} R$)



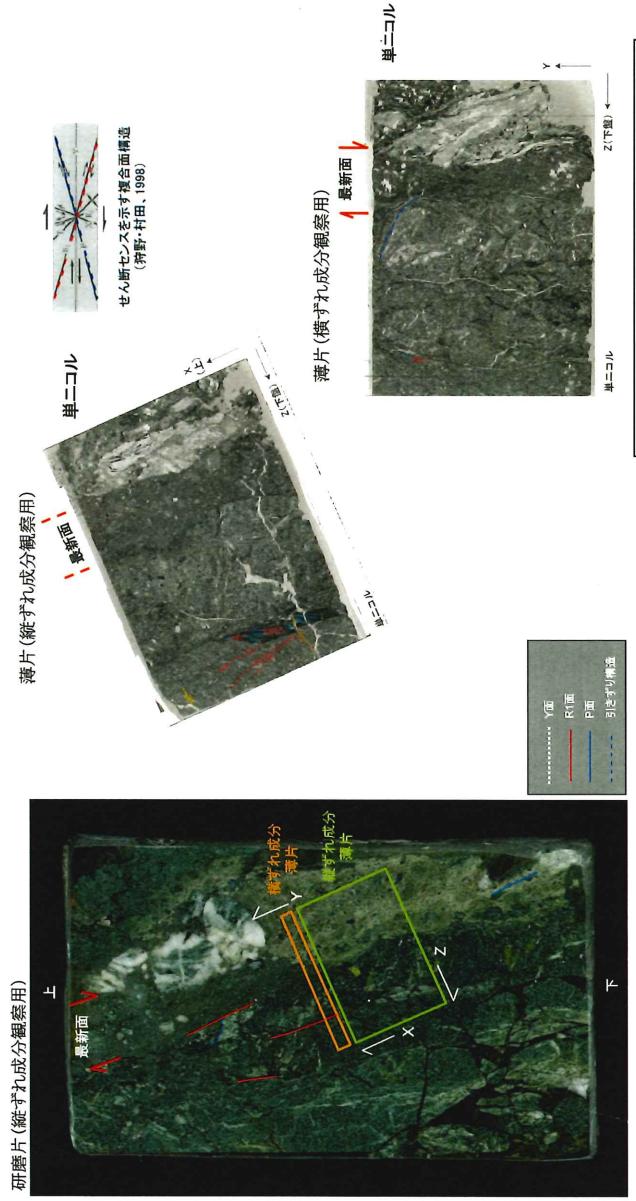
研磨片を切断して条線観察を行った結果、
最新面に近接した切削面において $30^{\circ} R$ の条線が認められた。
これは、最新面の外側に見られる左横ずれ成分が認められる
箇所に相当。なお、研磨片の観察面は、約 $70^{\circ} L$ に相当。



- ・最大傾斜方向から 5° ずつ時計回りに回転させたCT画像を示す。
 - ・最新面付近のY面やR1面は、条線のレイクが 60° L~ 65° L相当付近で比較的明瞭に見られることから、最新面の条線方向を 65° Lと推定した。またCT画像解析により、最新面付近では、右横ずれ・正断層センスを示す複合面構造が発達していることを確認した。
 - ・条線観察面付近では、レイク 30° R相当付近で比較的明瞭なY面が見られる。

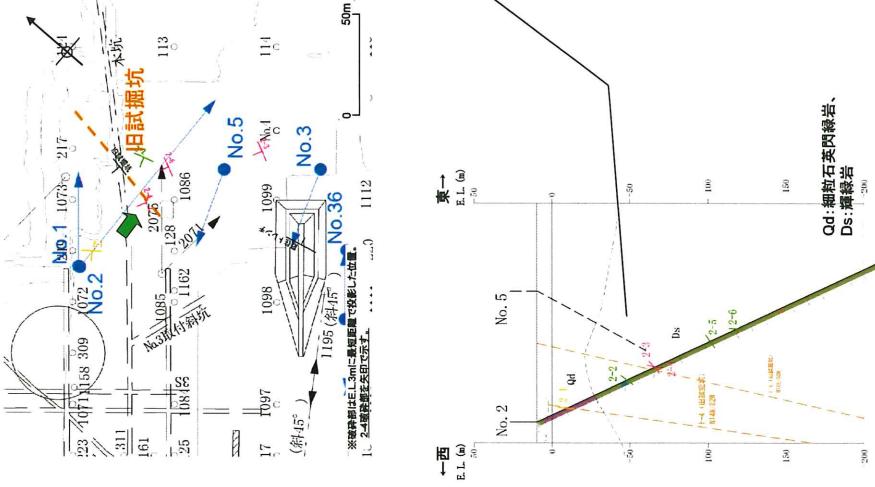
第3.5.60 図(2) F-6 破碎帶 条線観察結果 (No.1孔) (2)

F-6破碎帶(No.1孔)



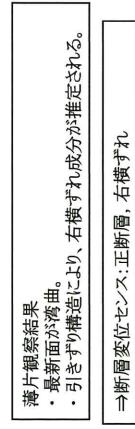
6-3-755

F—6破碎帶(No.2子L)



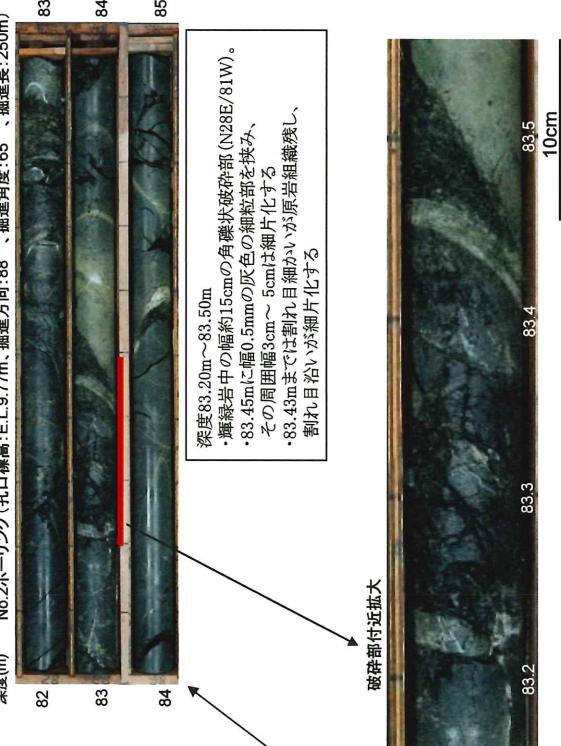
6-3-756

第3.5.61図 F-6破碎帶 薄片観察結果 (No. 1孔)



- ・研磨片観察結果
- ・最新面が湾曲。
- ・縞状構造を示す
- ・引きずり構造に。

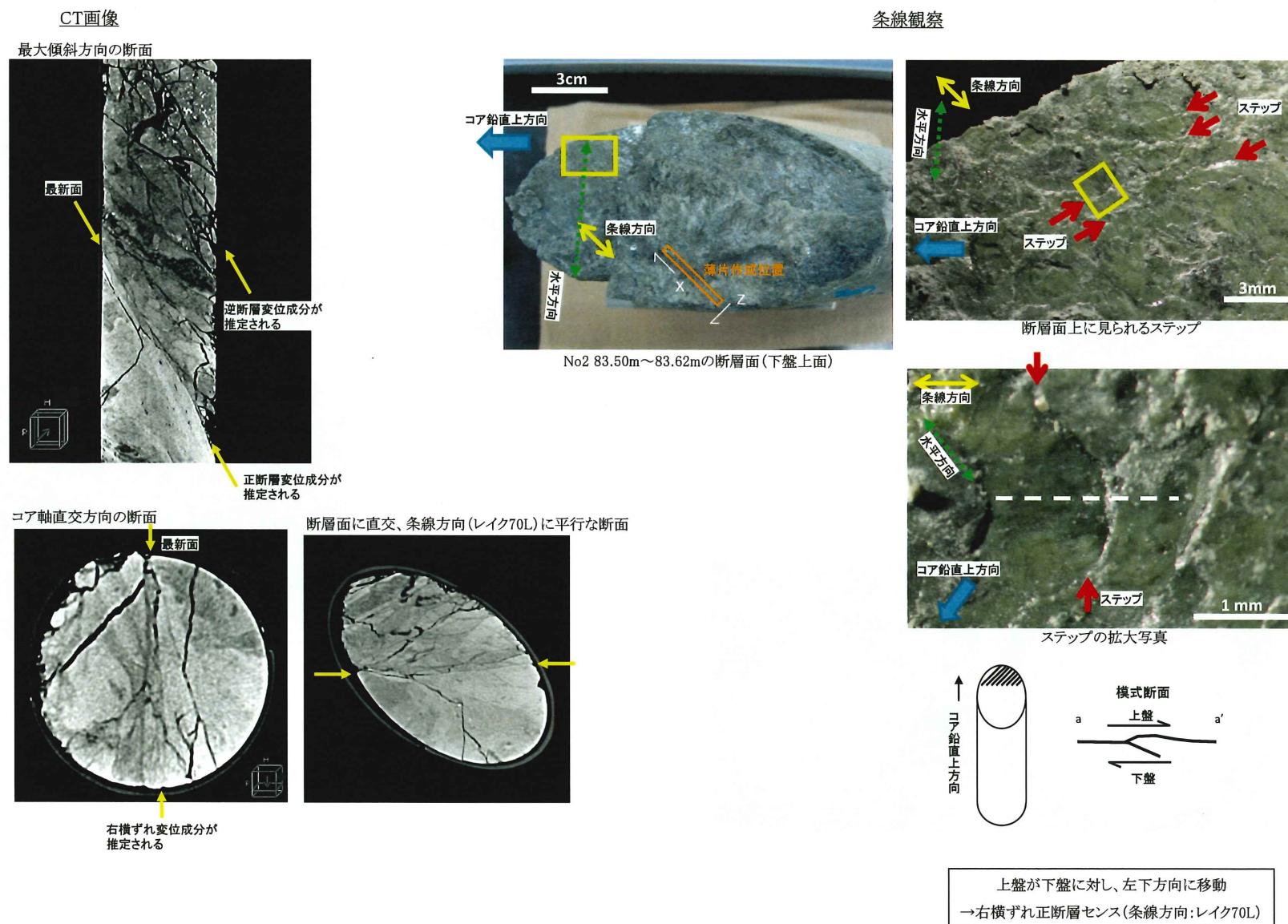
第 3.5.61 図 F-6 破碎帶 薄片観察結果 (No. 1 孔)



深度83.20m~83.50m
・輝雲岩中の幅15cmの角縞状破碎部(N28E/81W)。
・38.45mに幅0.5mmの灰の細部を挟み、
その周囲幅3mm~5cmは細片化する
・38.43mまで割離目細かいが原岩組織残し、
割離目までが細片化する

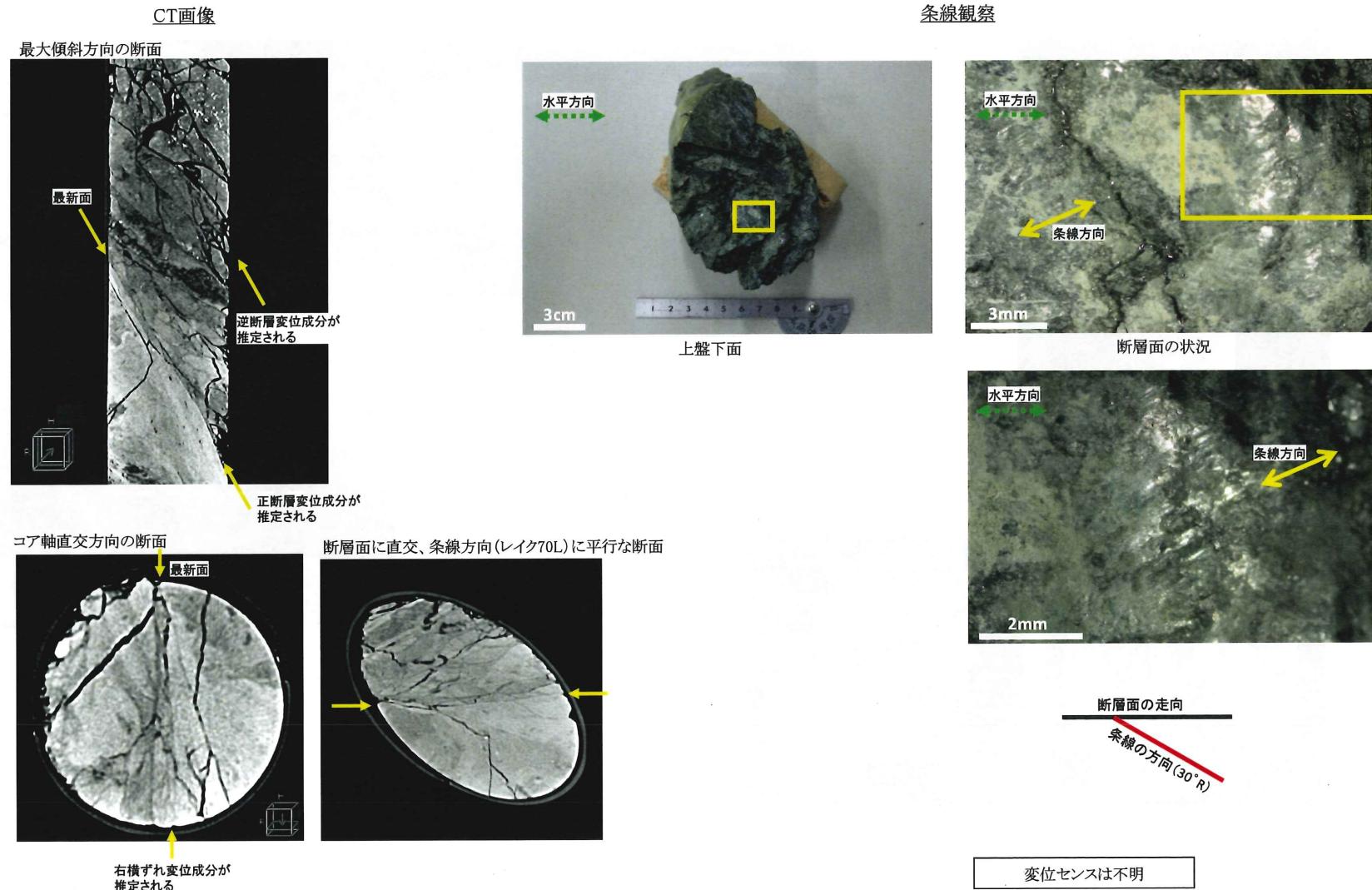
第3.5.62 図 F-6 破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 2 孔)

F-6破碎帶(No.2孔 下盤上面)



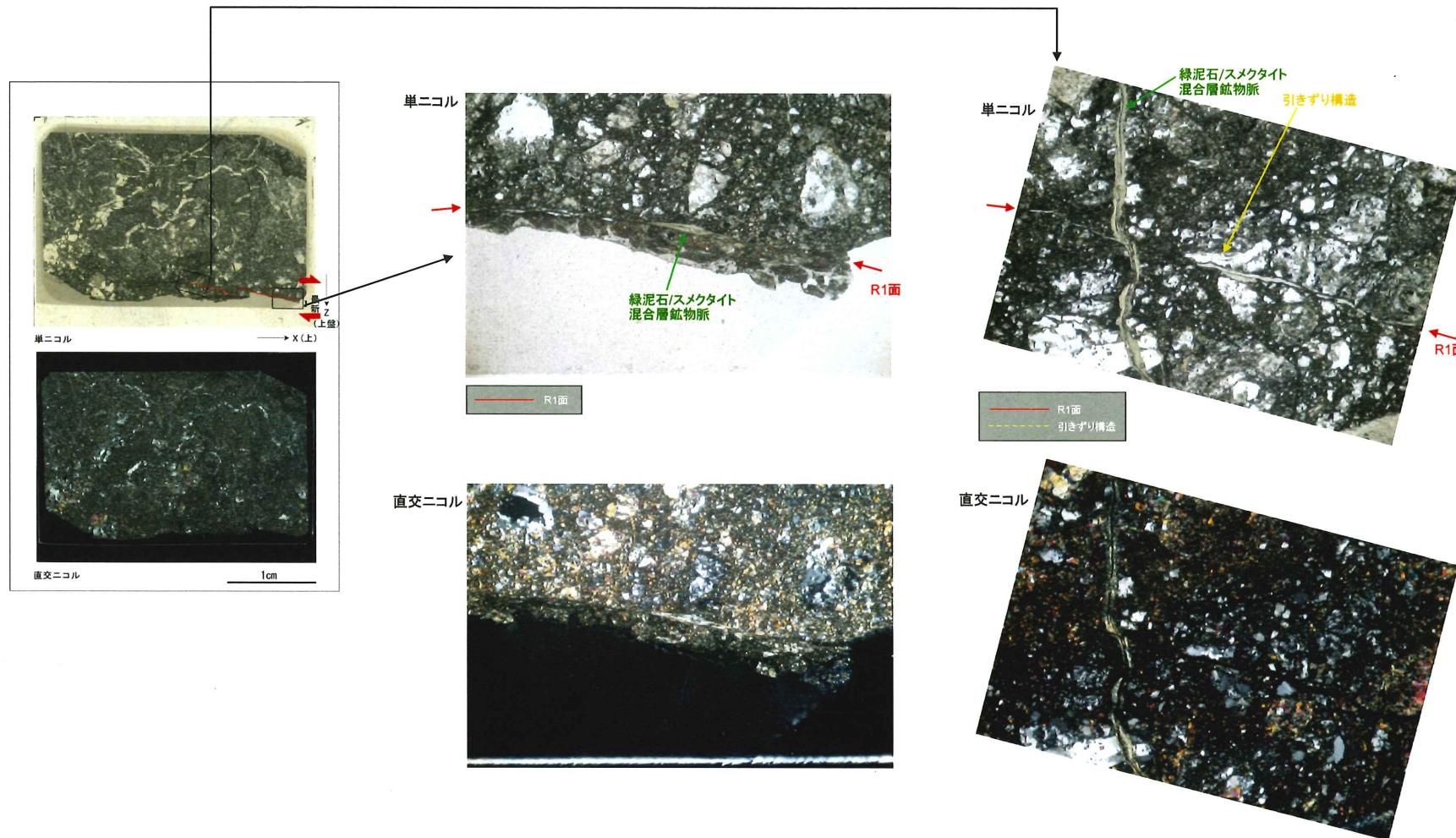
第3.5.63図(1) F-6破碎帶 条線観察結果(No.2孔)(1)

F-6破碎帶(No.2孔 上盤下面)



第3.5.63図(2) F-6破碎帶 条線観察結果(No.2孔)(2)

F-6破碎帶(No.2孔 下盤上面 70° L切断面)



薄片観察結果(条線方向)

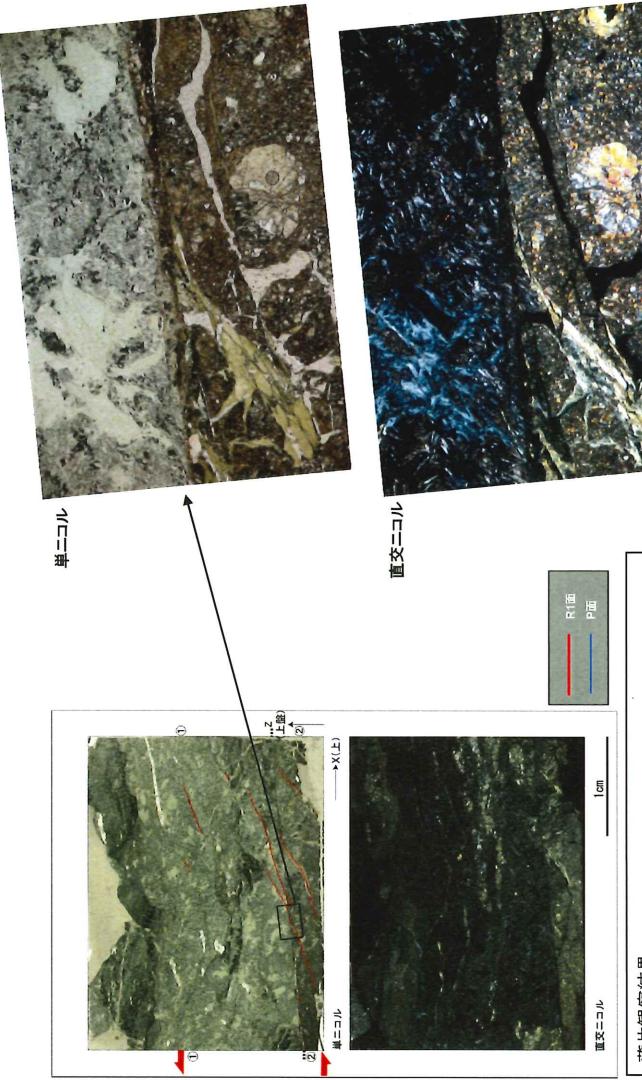
- ・最新面は、薄片の下端に位置する。最新面周辺の破碎部に、写真上見かけ右横ずれを示すR1面が認められる。
- ・薄片最下部で見られた最新面のR1面は緑泥石/スメクタイト混合層鉱物脈を剪断していない。
- ・最新面の走向・傾斜がN28° E・81° Wで、条線のレイク角が70° Lであることから、最新活動は正断層成分と右横ずれ成分を伴うことがわかる。

薄片観察結果

- ・最新面周辺の破碎部に、写真上見かけ右横ずれを示すR1面及び引きずり構造が認められる。
- ・薄片下部で見られる最新面のR1面は緑泥石/スメクタイト混合層鉱物脈を剪断していない。
- ・最新面の走向・傾斜がN28° E・81° Wで、条線のレイク角が70° Lであることから、最新活動は正断層成分と右横ずれ成分を伴うことがわかる。

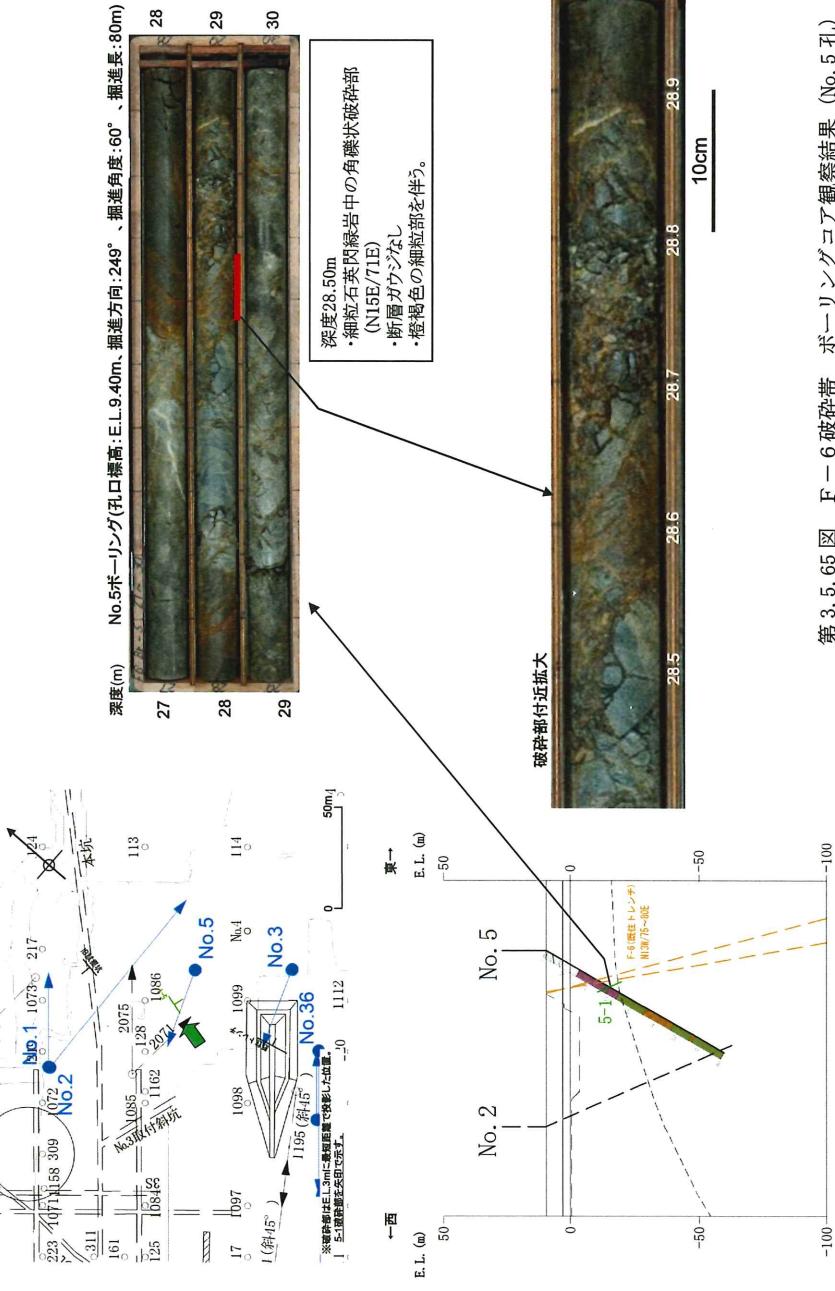
第3.5.64図(1) F-6破碎帶 薄片観察結果(No.2孔)(1)

F—6破碎帶(No.2孔) 上盤下面 30° R切断面

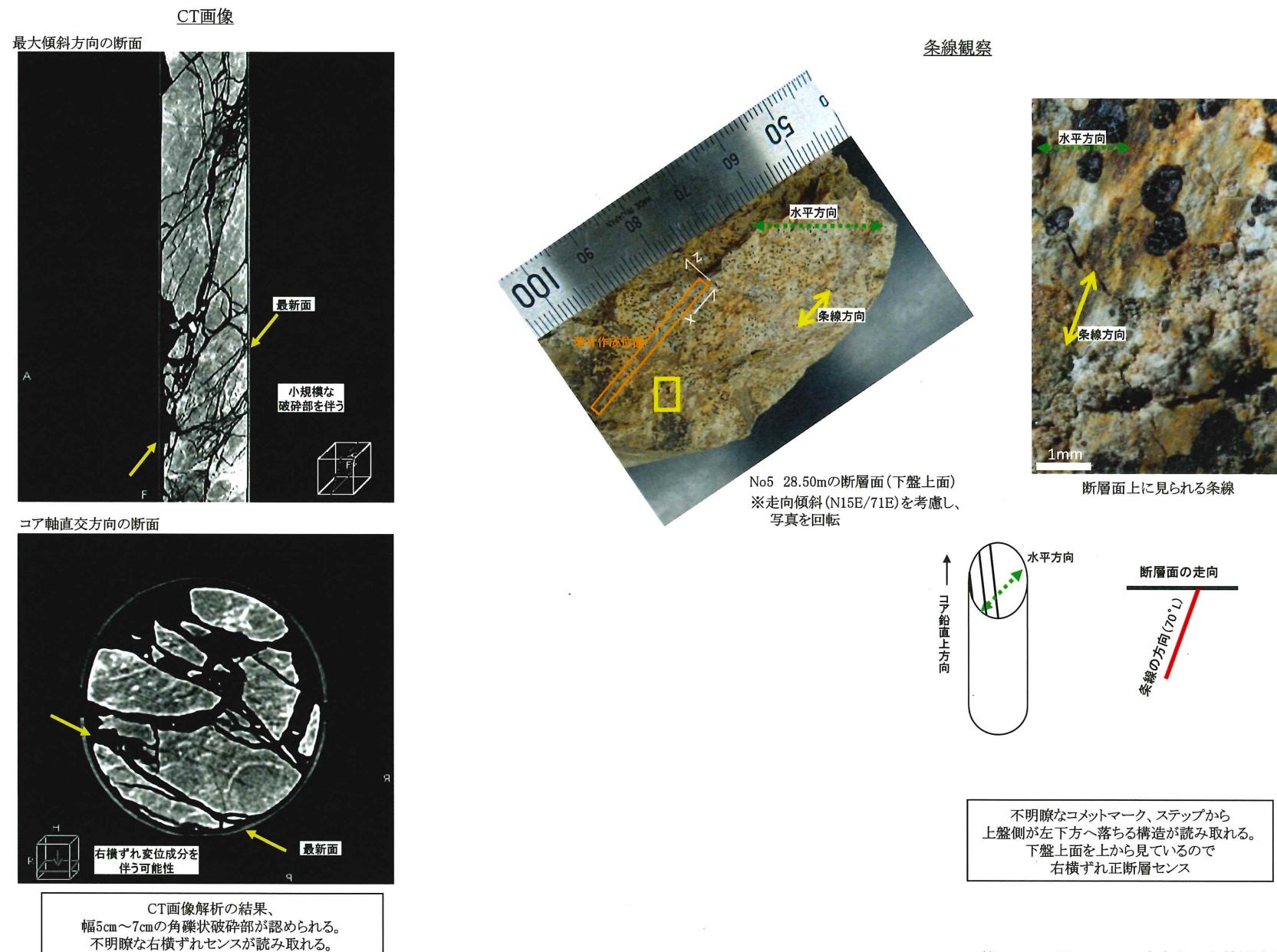


第3.5.64 図 (2) F—6 破碎帶 薄片観察結果 (No. 2 孔) (2)

F—6破碎帶(No.5孔)

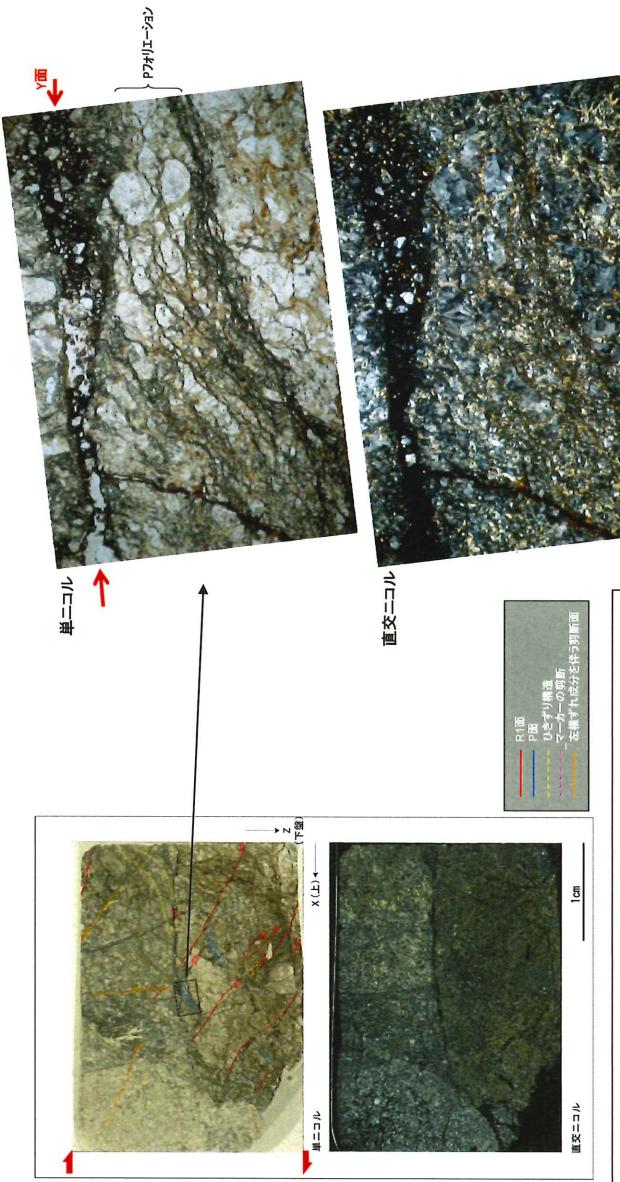


F-6破碎帶(No.5孔)



第3.5.66図 F-6破碎帶 条線観察結果(No.5孔)

E—6破碎帶(No.5孔)

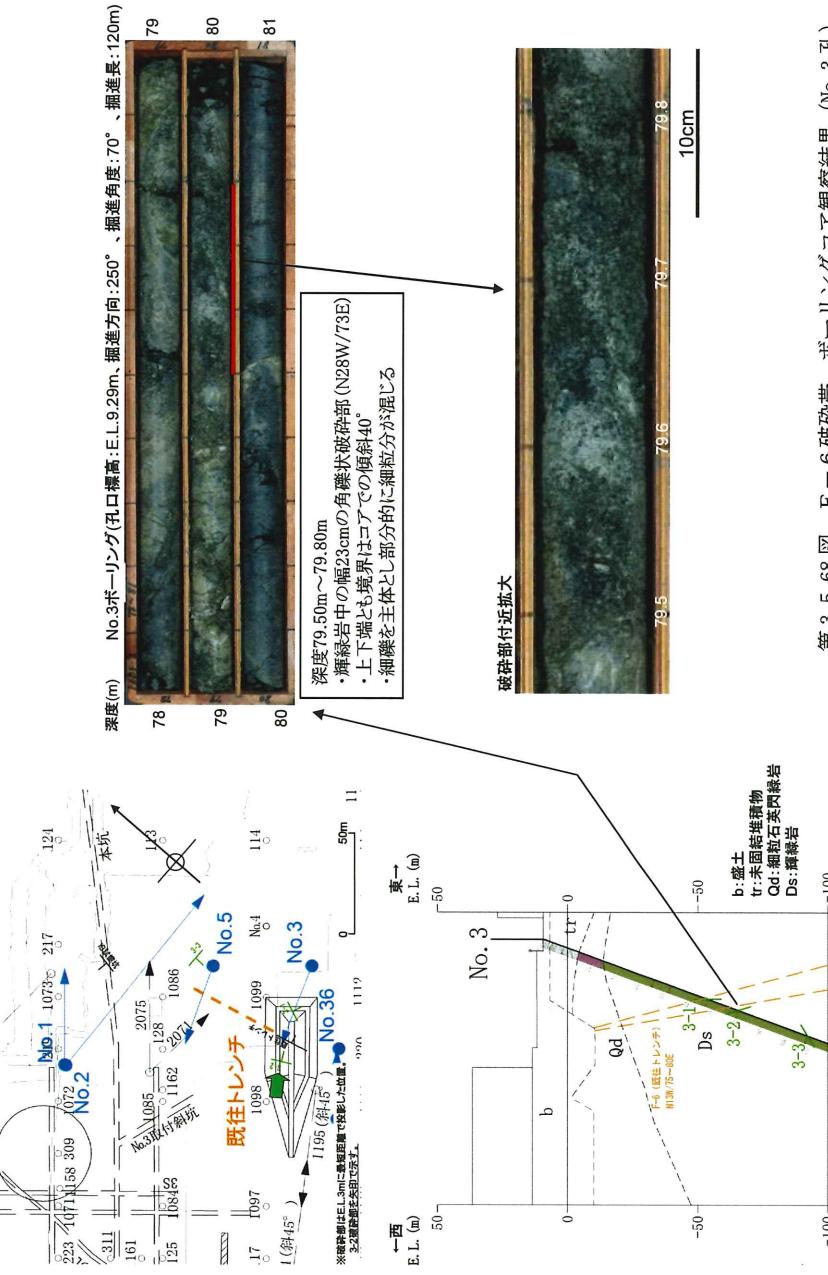


薄片觀察結果(條線方向)

成。以降の二軒、最新面は下止断面を介して右横すべり成分を生む。一方左横すべり成分を伴うY面に剪断される。

第3.5.67圖 F-6 破碎帶 薄片銅礦結果 (No. 5孔)

F—6破碎帶(No.3孔)



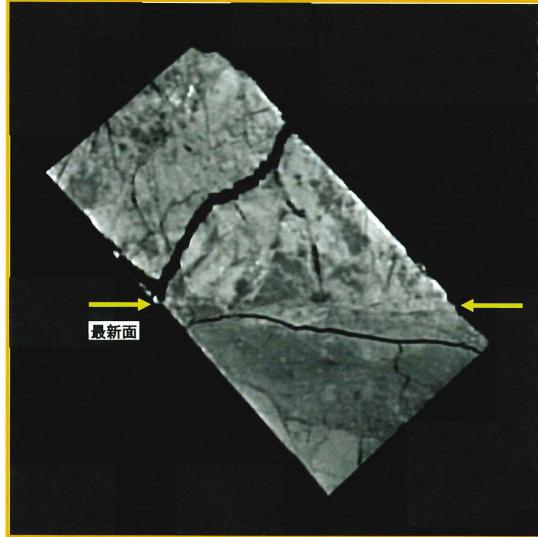
6-3-764

第3.5.68 図 F=6 破碎帶 ボーリングコア鑽探結果 (No. 3 打)

F-6破碎帶(No.3孔)

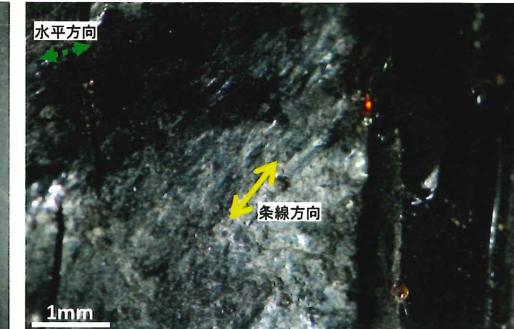
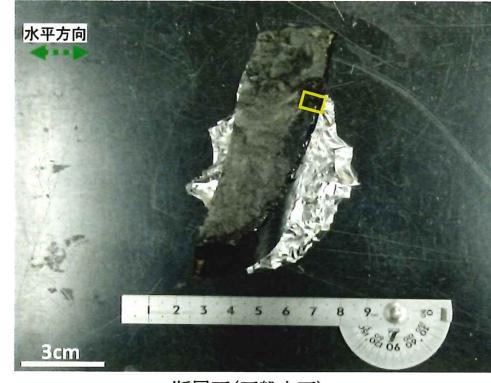
CT画像

最大傾斜方向の断面

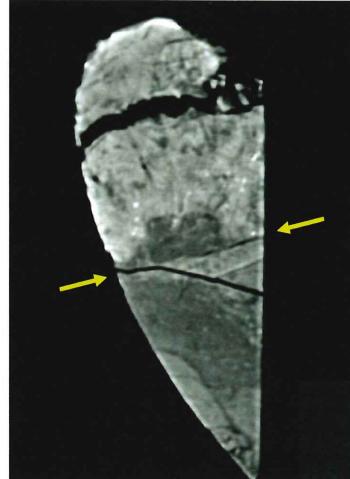


条線観察

No.3 79.45m~79.55m 構造観察

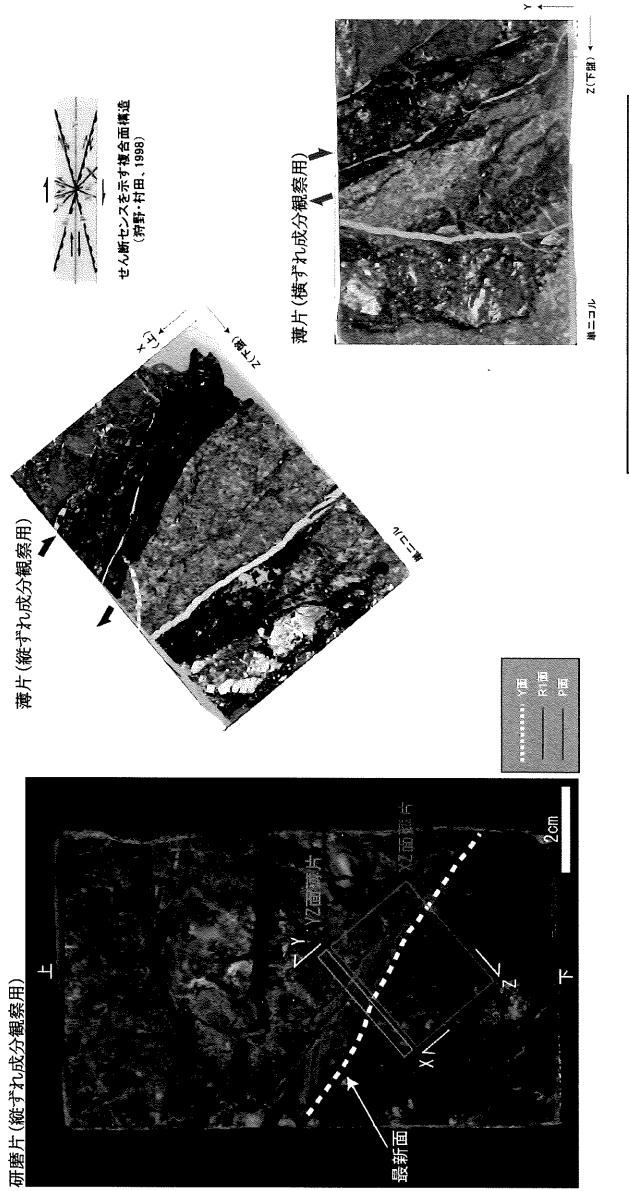


断層面に直交、条線方向(レイク40L)に平行な断面



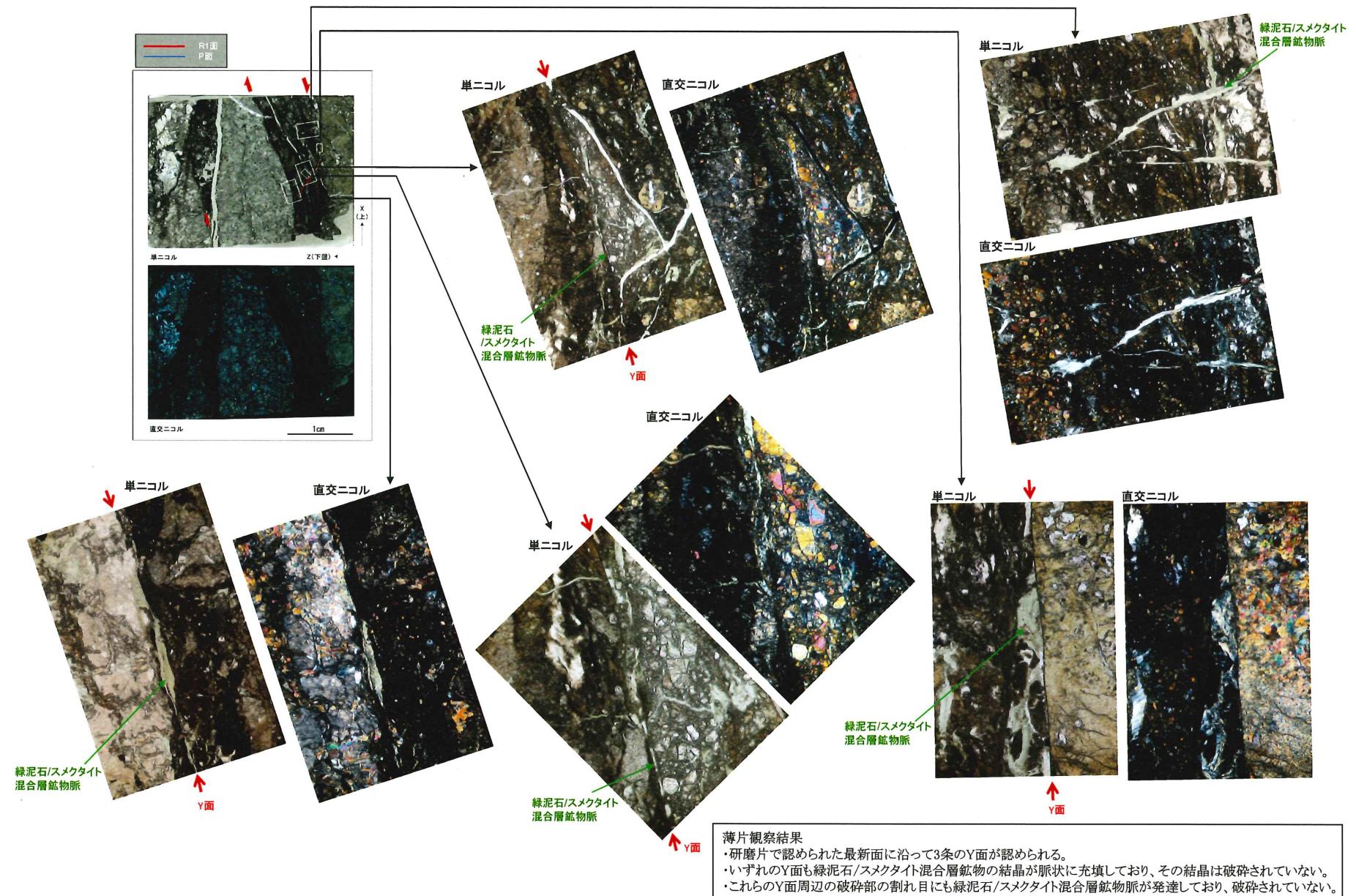
第3.5.69図 F-6破碎帶 条線観察結果 (No.3孔)

F—6破碎帶(No.3孔)



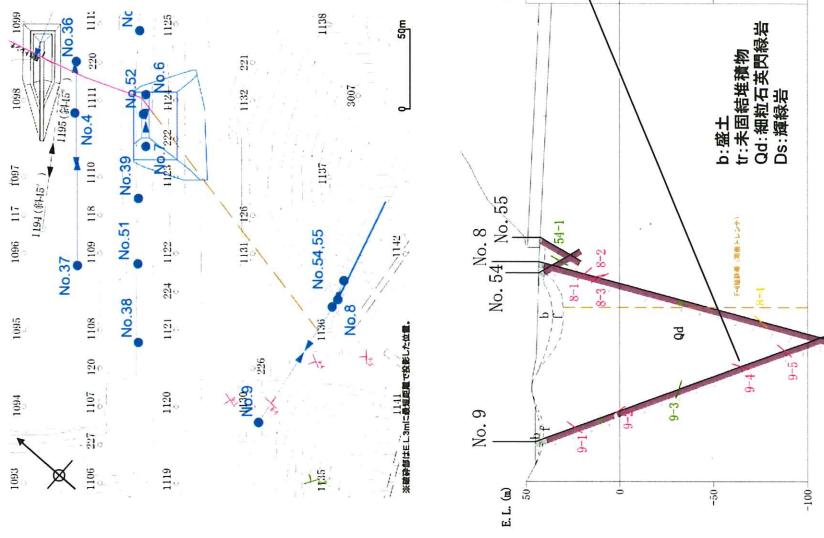
第3.5.70図(1) F—6破碎帶 薄片観察結果(No.3孔)(1)

F-6破碎帶(No.3孔)

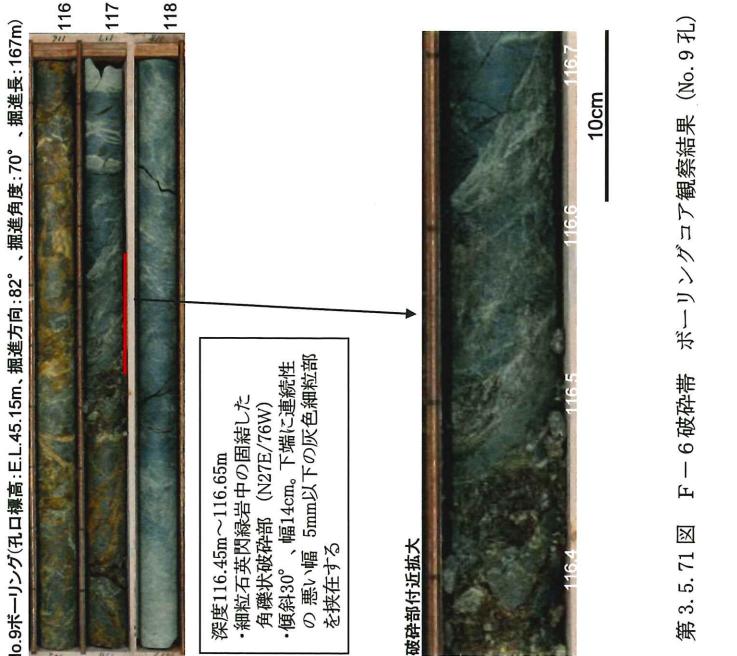


第3.5.70図(2) F-6破碎帶 薄片観察結果(No.3孔)(2)

F-6破碎帶(No.9子L)

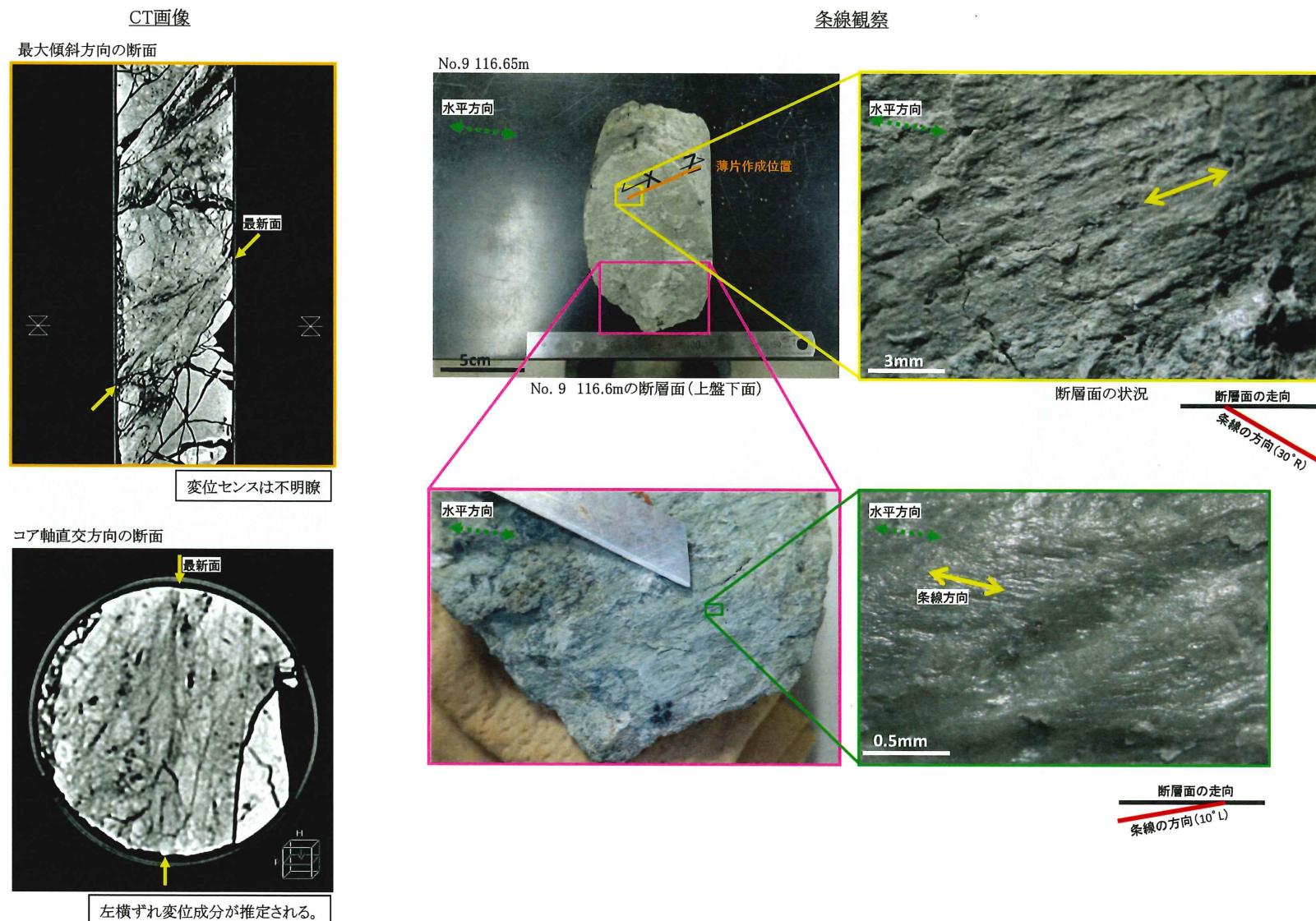


6-3-768



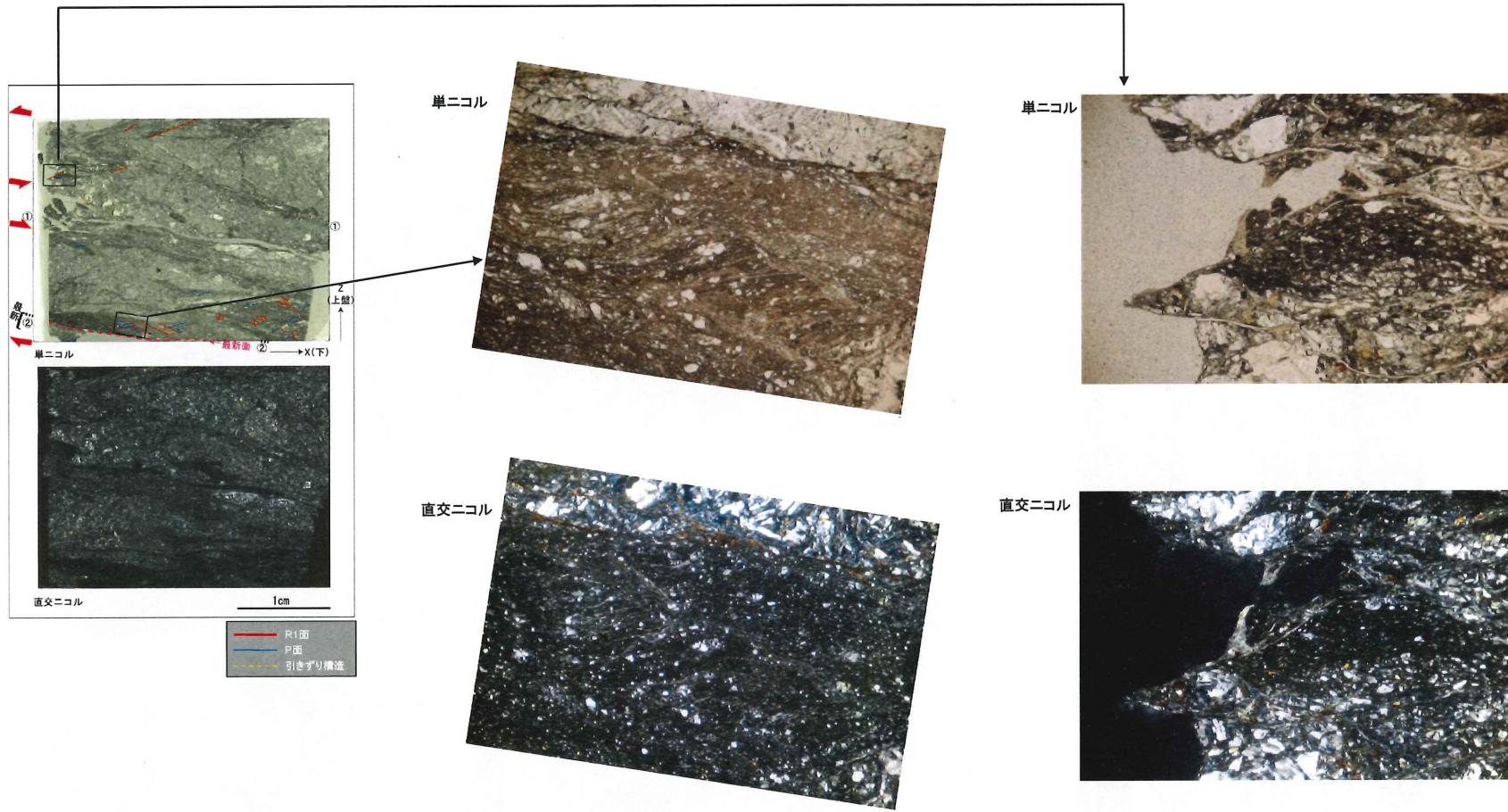
第3.5.71 図 F=6 破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 9 孔)

F-6破碎帶(No.9孔)



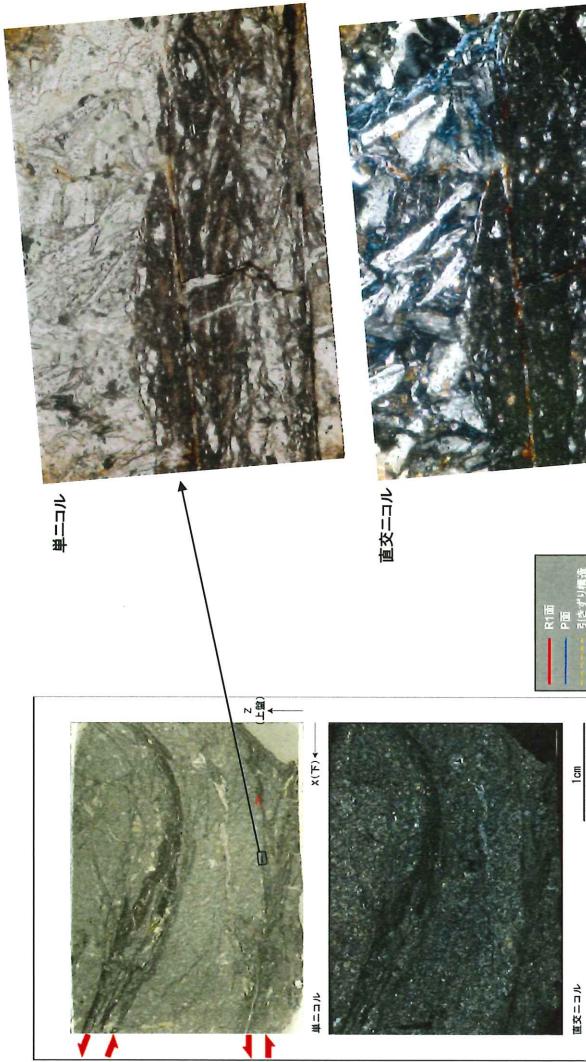
第3.5.72図 F-6破碎帶 条線観察結果 (No.9孔)

F-6破碎帶(No.9孔 10° L切断面)



第3.5.73図(1) F-6破碎帶 薄片観察結果(No.9孔)(1)

F-6破碎带(No.9孔 30° R切断面)

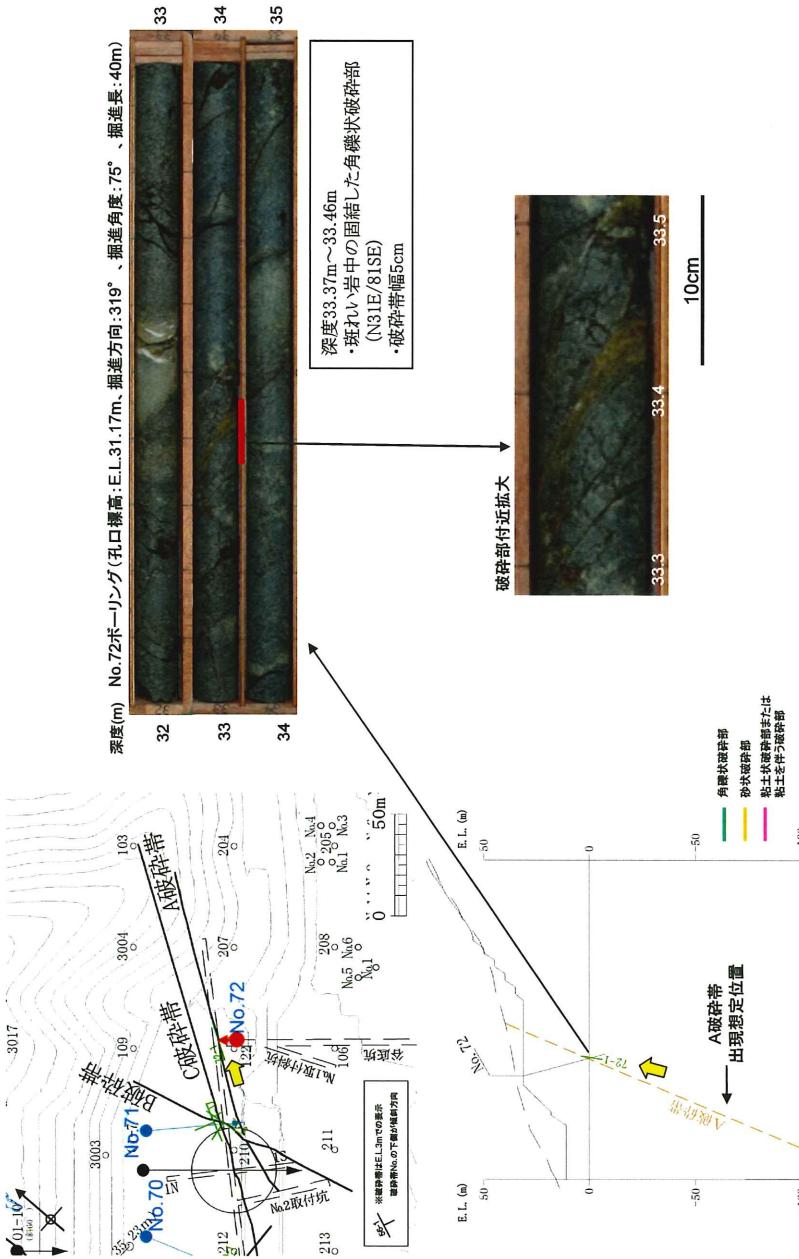


蒲片飼察結果

「ホーリーリング」中で認めた最新面は、薄片下端に沿って分布する。
「カタクレーサイト」が分布しておらず、中央部と上部には健岩が認められる。
見かけ左横側に発達するR面やP面、引きずり構造が認められる。
斜面のレイク角が30° R°であるところから、最新活動は正断層および左横ずれ成分を示す可能性がある。

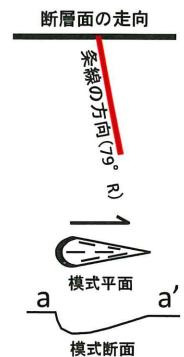
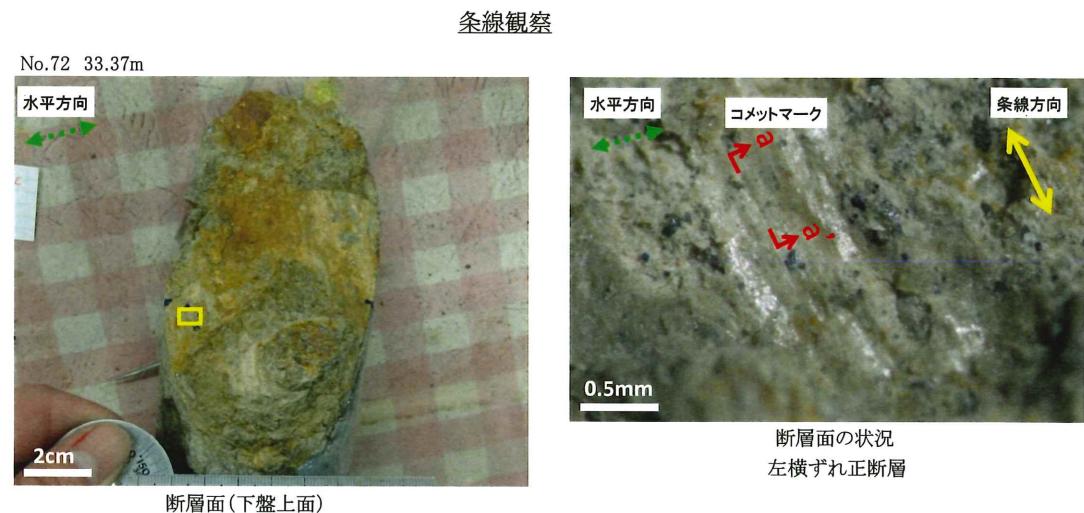
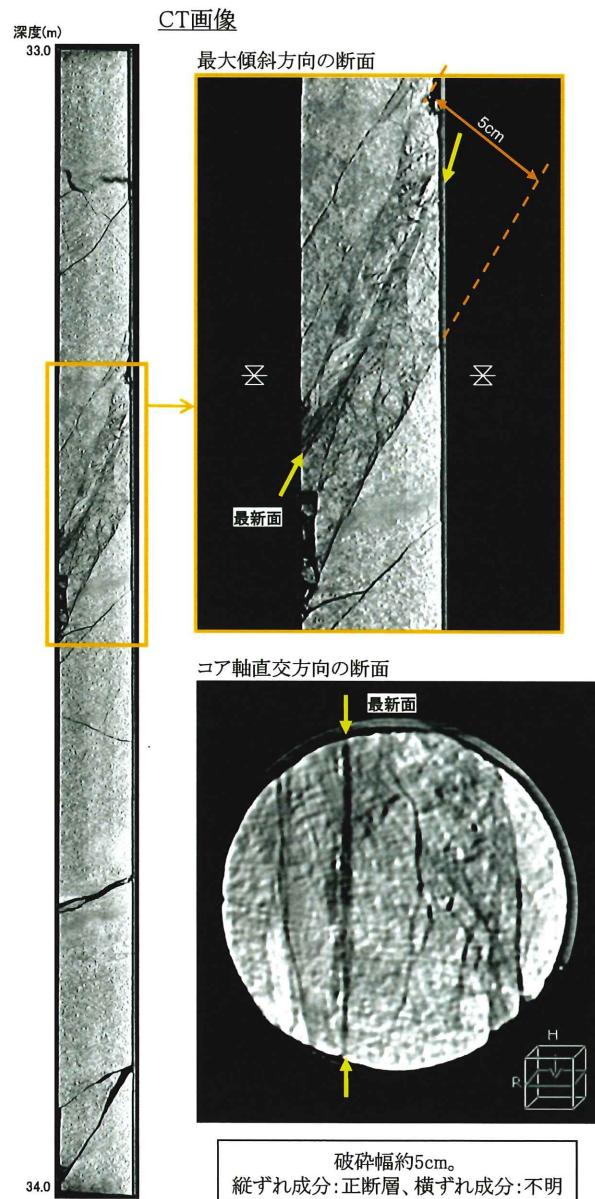
第3.5.73 図(2) F-6 破碎帶 薄片觀察結果 (No. 9 孔) (2)

A破碎帶(No.72孔)



第3.5.74図 A破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 72孔)

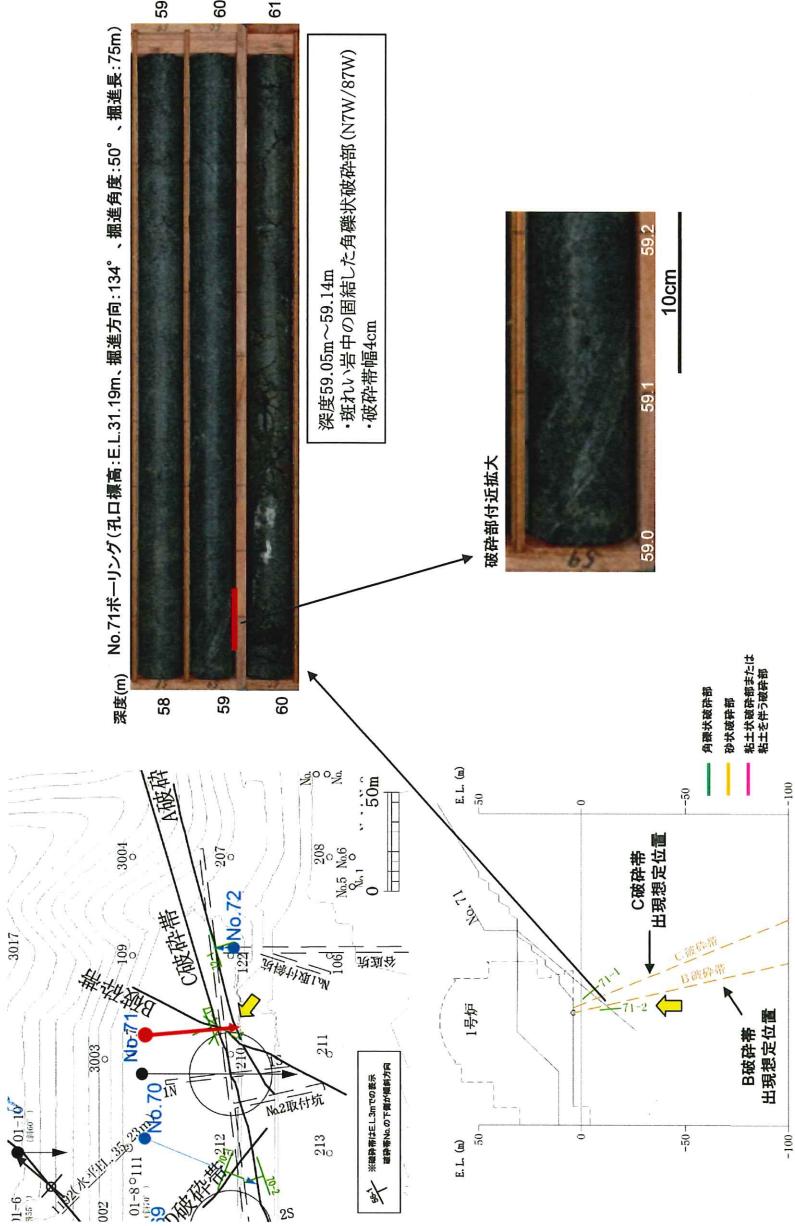
A破碎帶(No.72孔)



レイク79° Rの左横ずれ・
正断層センスが認められた

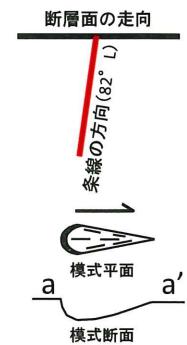
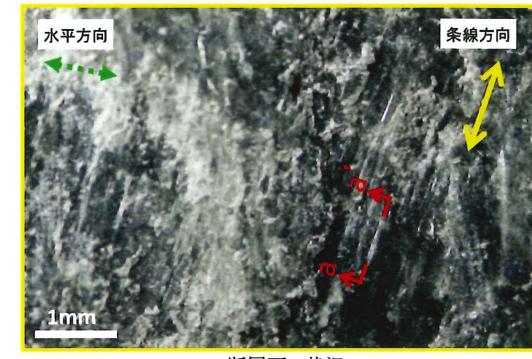
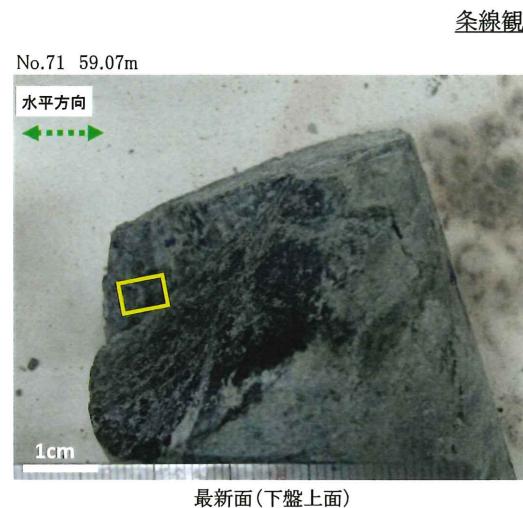
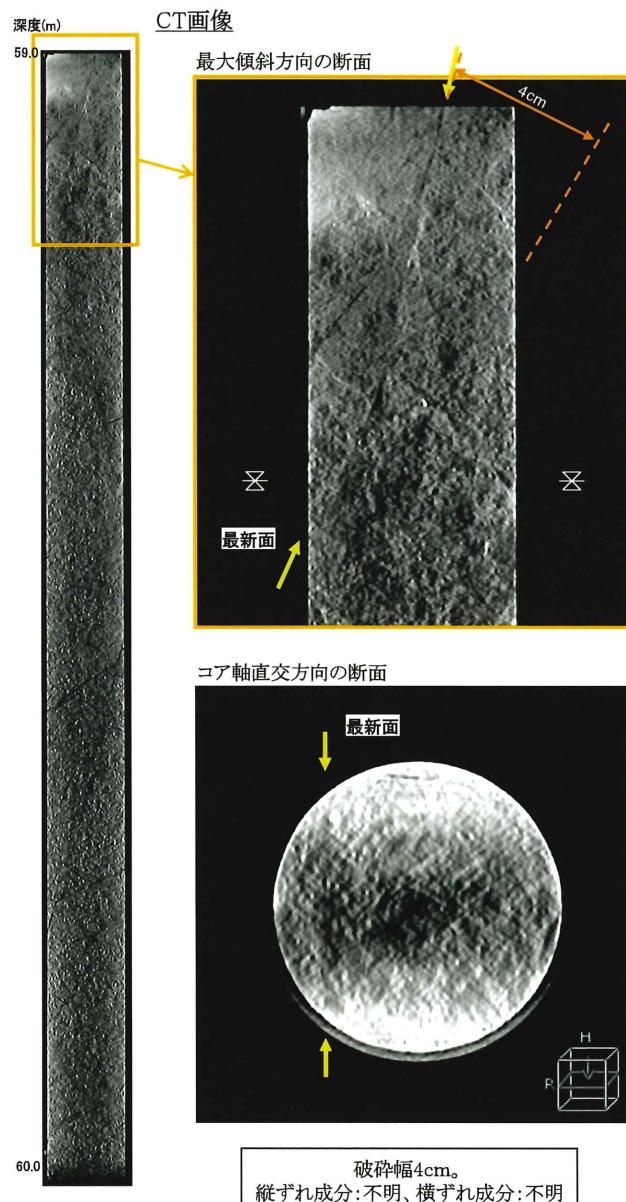
第3.5.75図 A破碎帶 条線観察結果 (No. 72孔)

B破碎帶(No.71孔)



第3.5.76図 B破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No.71孔)

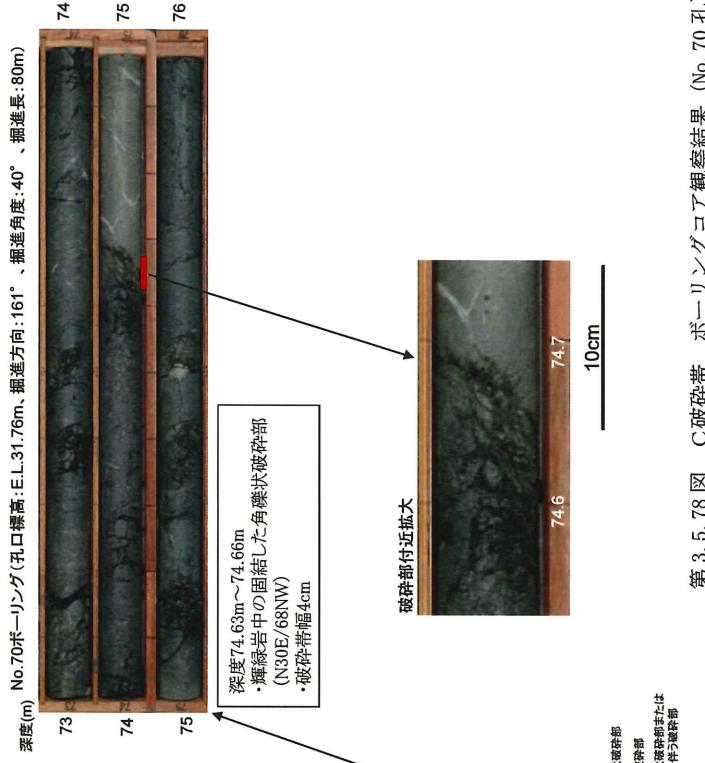
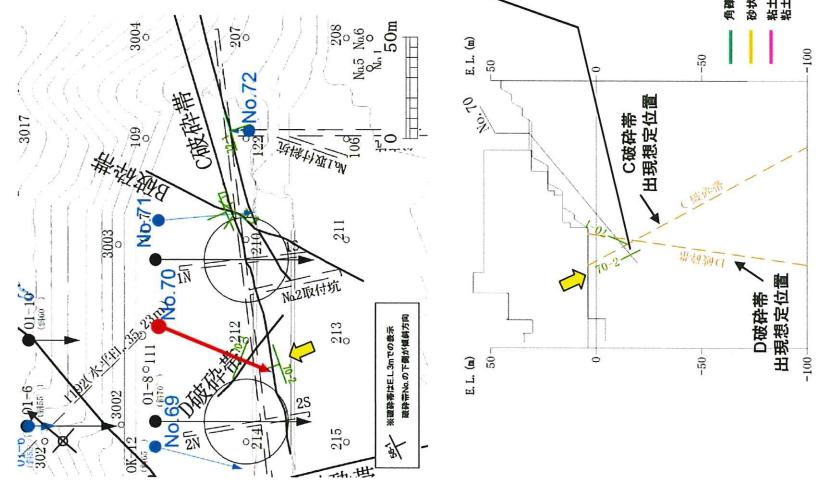
B破碎帶(No.71孔)



レイク82° Lの左横ずれ・
逆断層センスが認められた

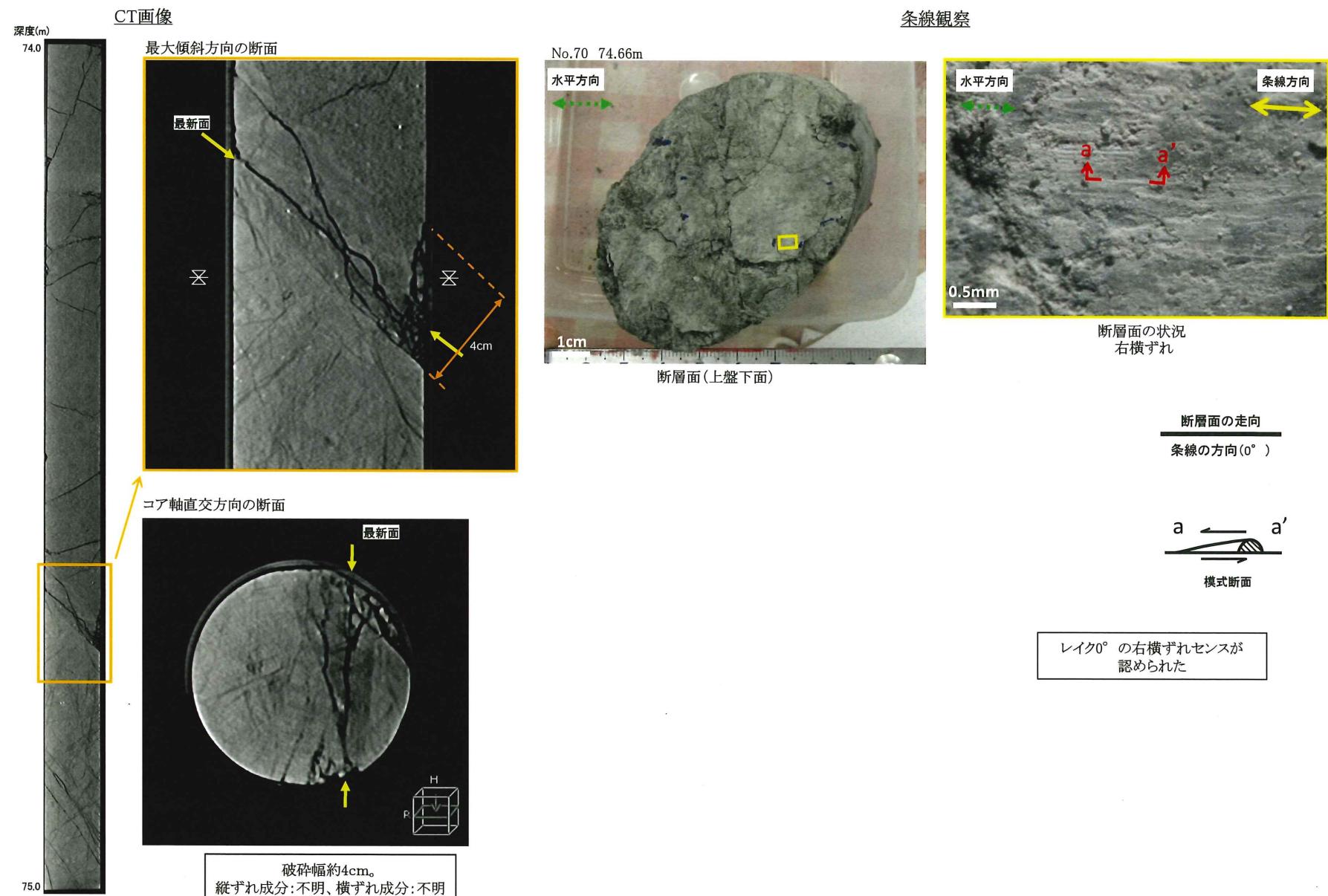
第3.5.77図 B破碎帶 条線観察結果 (No. 71孔)

C破碎帶(No.70孔)



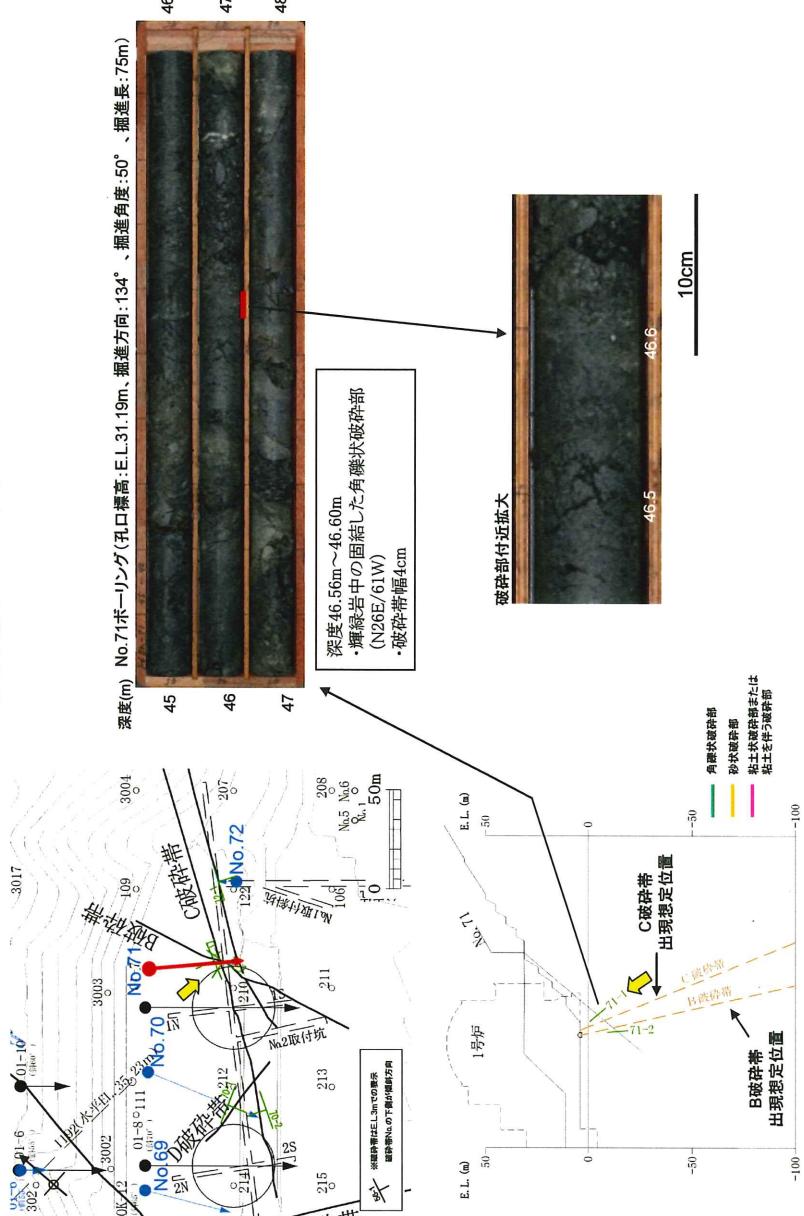
第3.5.78図 C破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 70孔)

C破碎帶(No.70孔)



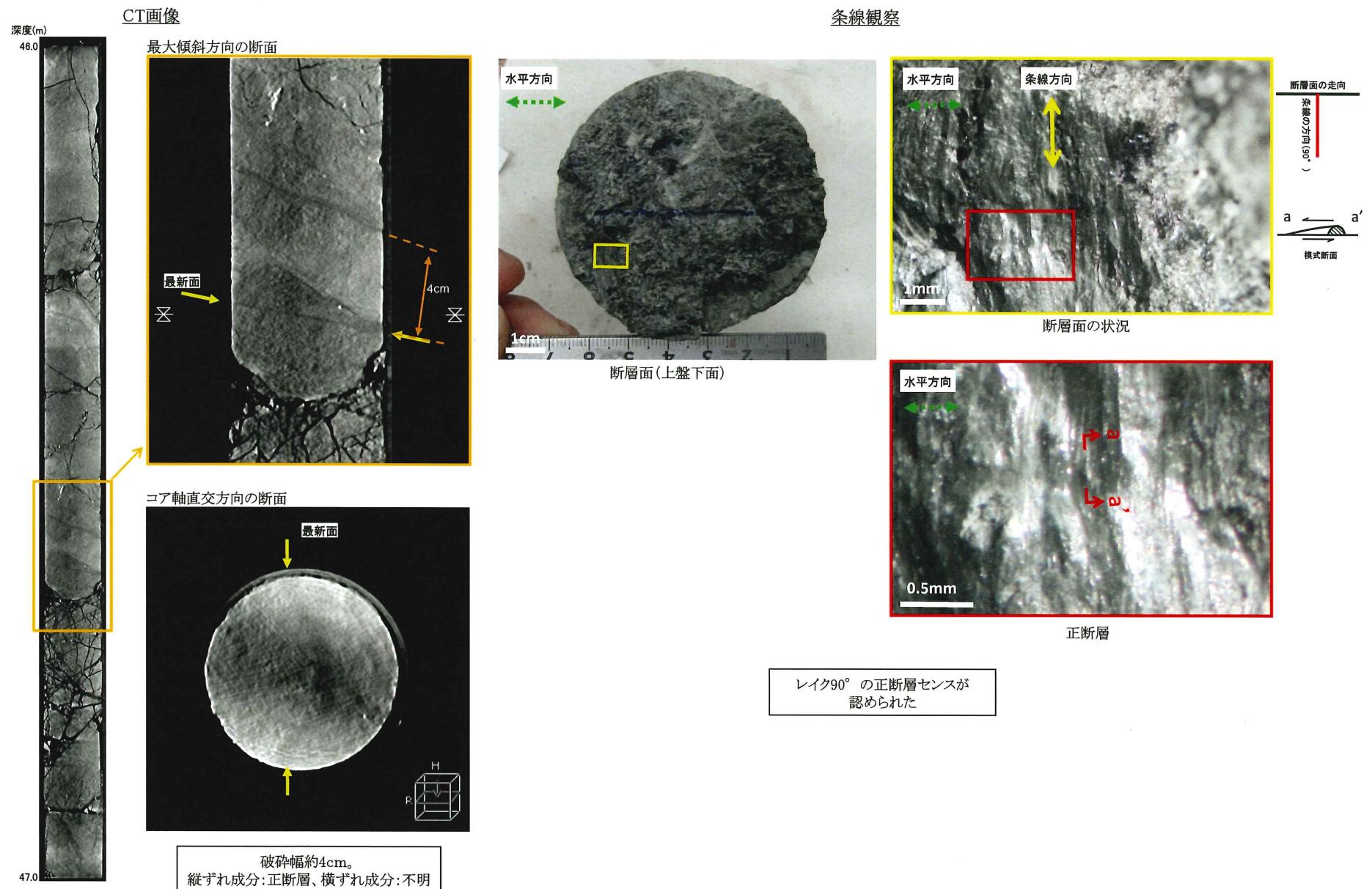
第3.5.79図 C破碎帶 条線観察結果 (No. 70孔)

C破碎帶(No.71孔)



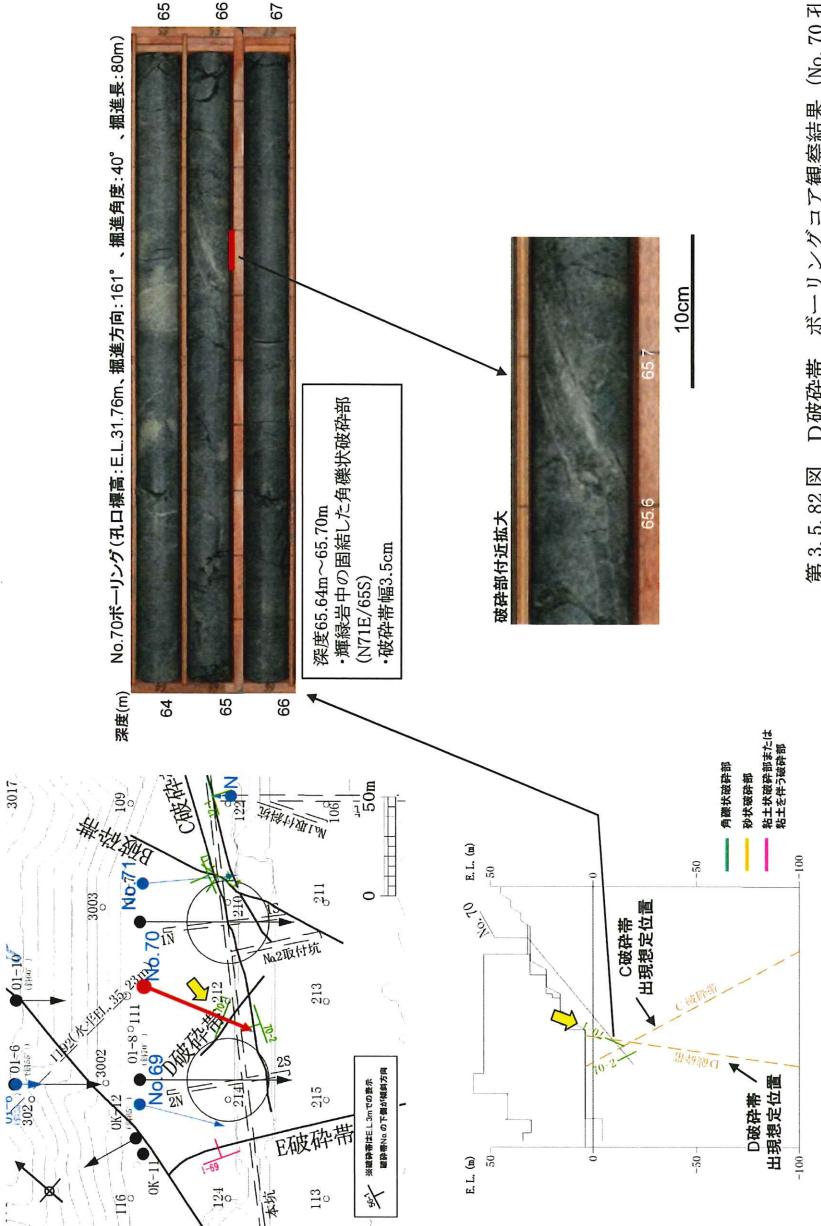
第3.5.80 図 C破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 71 番)

C破碎帶(No.71孔)



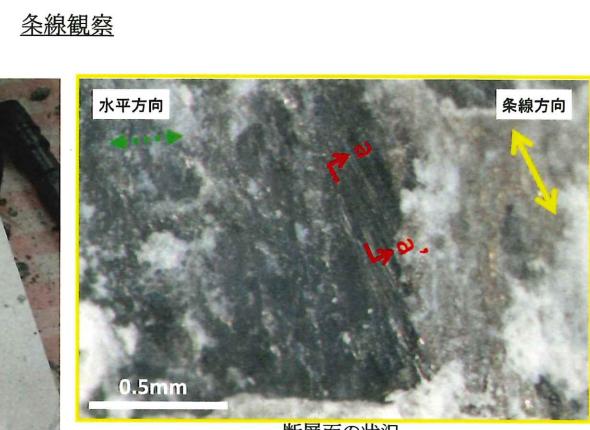
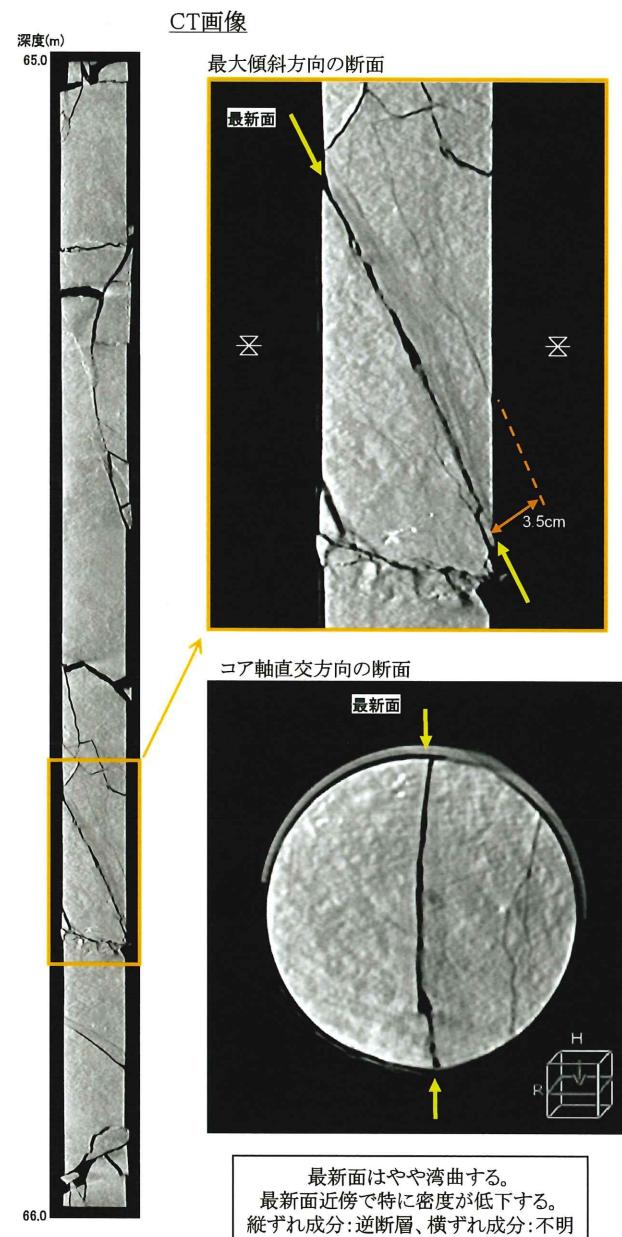
第3.5.81図 C破碎帶 条線観察結果 (No. 71孔)

D破碎帶(No.70孔)

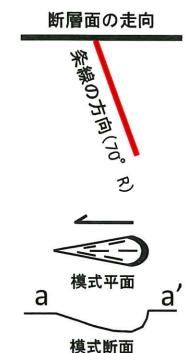


第3.5.82図 D破碎帶 ボーリングコア観察結果 (No. 70孔)

D破碎帶(No.70孔)



右横ずれ逆断層
条線の上を黄鉄鉱と石英が覆う。
これらの鉱物には条線はついていない



レイク70° Rの右横ずれ・
逆断層センスが認められた

E破碎帶(No.69孔)

